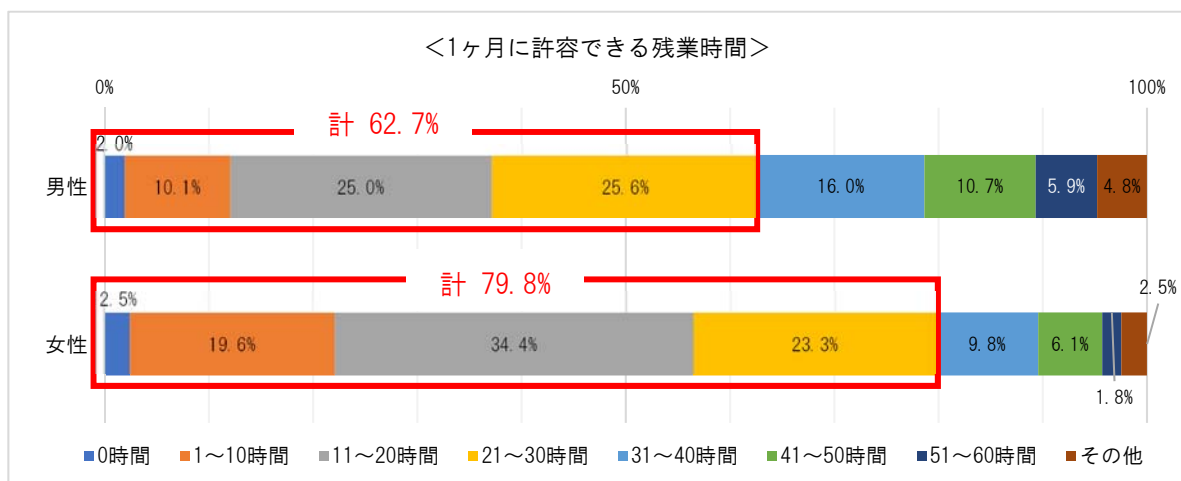


2017年度

新入社員の会社生活調査

注目データ

- ・月の残業「30時間以上は許容できない」 男性 62.7%
女性 79.8%



- ・60歳を超えても働きたい 男性41.2% 女性15.5%

- ・“無条件”で転職を受け入れる 4人に1人(24.7%)
✓ 転居の有無、期間に関係なく転職してもよい…男性は28.2%、女性は17.3%

- ・参加したい社外行事 1位「飲み会」2位「BBQ」3位「サークル・同好会」
✓ 運動会は7位でおよそ37%にとどまる
✓ 男女差の大きい行事「花見」 女性59.3% (男性比+9.2%)

学校法人産業能率大学（東京都世田谷区）は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し「2017年度 新入社員の会社生活調査」としてまとめました。

調査は3月28日から4月12日まで、本学の産能マネジメントスクールが開催する「新入社員セミナー」に参加した131社523人の新入社員を対象に実施し、519人（男性356人・女性163人）から有効回答を得ました。

本調査は1990年度から「新入社員の会社生活調査」として継続して実施しています。

全体総括

長時間労働の是正など「働き方改革」の議論が進む昨今。今年度の新入社員に月の残業時間に対する認識を尋ねたところ、男性の約6割、女性の約8割が「30時間以上の残業は許容できない」と回答しました。また、継続雇用年齢を引き上げる企業が増加しているなか「60歳を超えても働きたい」とする回答は男性が約4割、女性が約2割となりました。

友人との連絡手段について、ほぼ全員がLINEを利用していますが、「業務でもLINEなどのメッセージアプリを使いたい」とする回答は3割程度にとどまりました。SNSにおける上司からの友達申請（追加リクエスト）についてどう思うかを尋ねたところ、昨年同様に半数以上が「嫌だ」と回答し、嫌な理由のトップは「公私は分けたいから」でした。

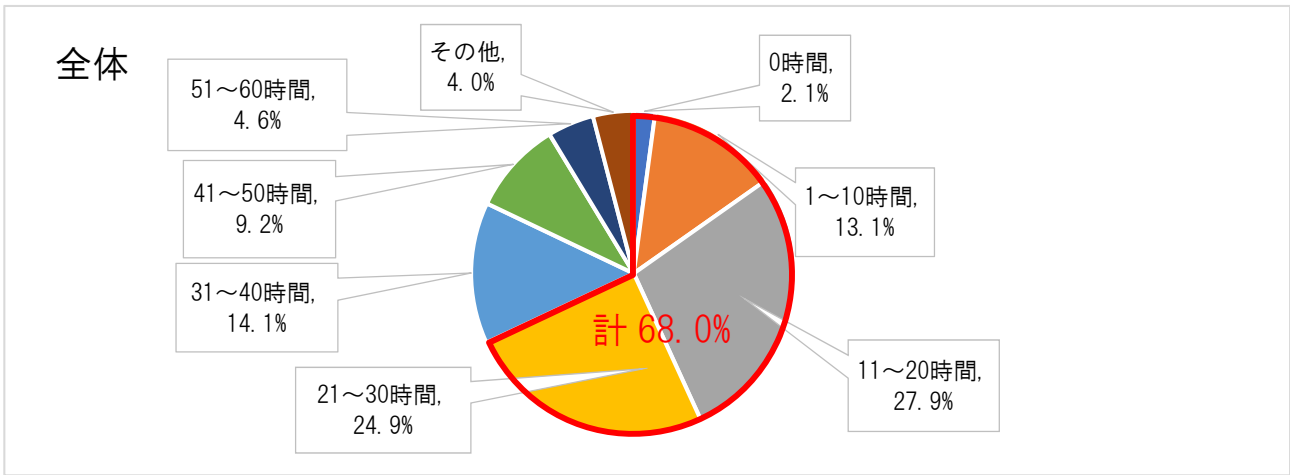
社員の親睦を図るために、運動会や社員旅行などの行事を復活させる企業が話題になりましたが、新入社員に参加したい業務外の集まり（イベント）を尋ねたところ、1位が「飲み会」（約80%）、2位が「バーベキュー」（約63%）、3位が「サークル・同好会」（約55%）となりました。

目次

- 注目データ・・・P. 2 ～ P. 3
- 調査概要・・・P. 4
- 調査結果・・・P. 5 ～ P. 10
- データ集・・・P. 11 ～ P. 36

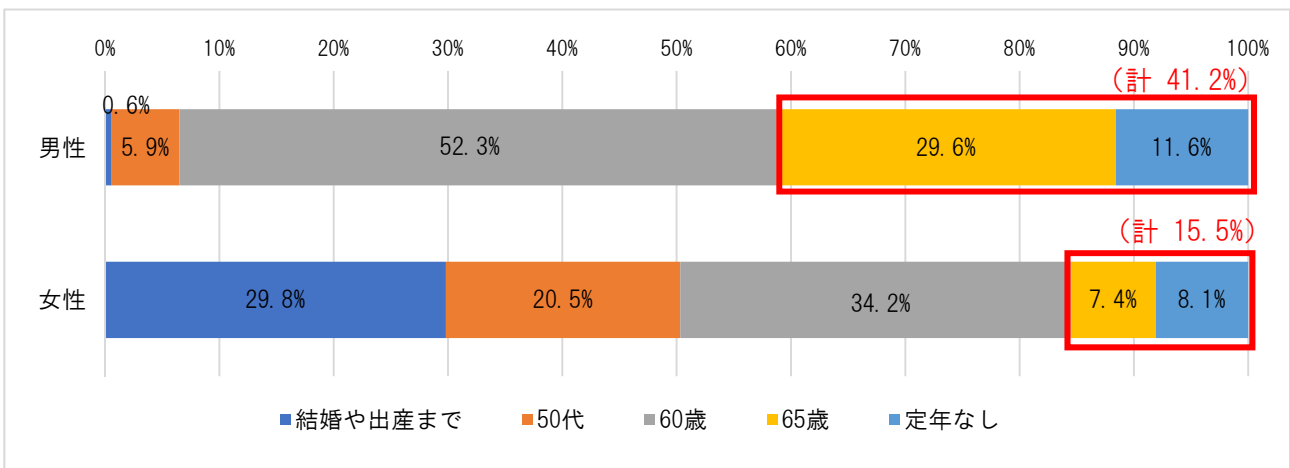
注目データ

▼1カ月の残業時間「30時間以上は許容できない」約7割



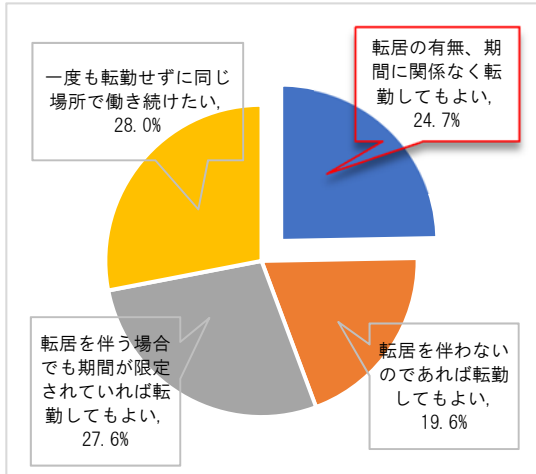
1カ月の残業時間はどの程度なら許容できるかについて、「11~20時間」が27.9%で一番多く、次いで「21~30時間」が24.9%となりました。残業許容時間「0時間」から「21~30時間」までを合計すると約7割となりました。

▼60歳を超えても働きたい 男性41.2% 女性15.5%



継続雇用年齢を引き上げる企業が増加しているなか、新入社員にいつまで働きたいか尋ねたところ、男性の41.2%が「60歳を超えても働きたい」と回答しました。一方、女性は「60歳を超えても働きたい」とする回答は15.5%にとどまっています。

▼転勤はできる？ ⇒ 無条件にOKは4人に1人

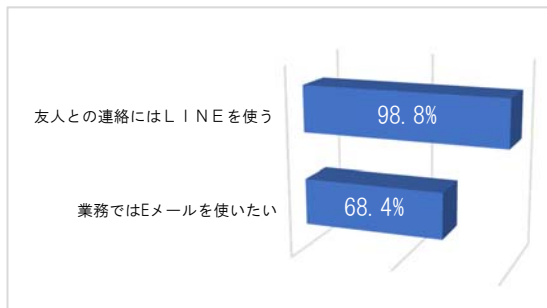


転居を伴わない採用枠を設ける企業が話題となっています。「一度も転勤せずに同じ場所で働きたい」が僅差ではあるものの28.0%で1番多くなりました。

次いで「転居を伴う場合でも期間限定なら」が27.6%となり、「転居を伴わないのであれば転勤してもよい」が19.6%となりました。

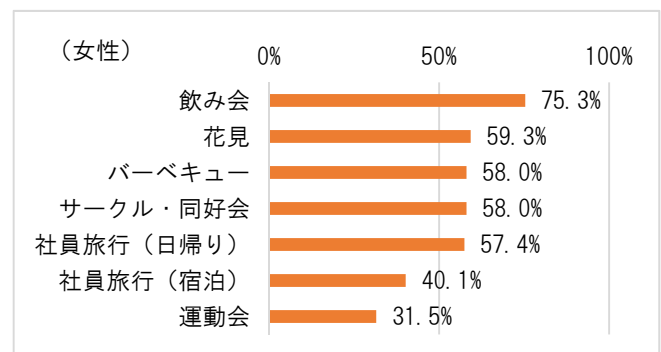
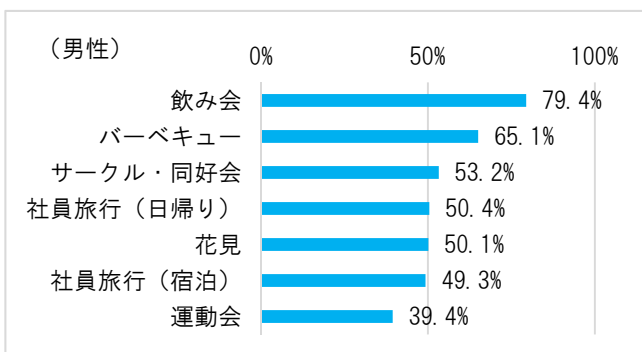
一方、「転居の有無、期間に関係なく転勤してもよい」は24.7%で、無条件に転勤を許容できるのは、全体で4人に1人の割合となりました。

▼連絡ツールは何を使う？ ⇒ 友達はLINE、業務はEメール



知人・友人と連絡する際に使用しているツールは、「LINE」が最多（98.8%）となりました。一方で、LINEを業務でも使いたいか尋ねたところ、「業務ではEメールを使いたい」が約7割を占める結果となりました。

▼参加したい業務外の行事 1位 飲み会 2位 BBQ



業務外の任意参加での集まりのうち、参加したいものを複数回答で尋ねたところ、男女ともに「飲み会」が1位となりました。男性では、続いて「バーベキュー（女性比+7.1ポイント）」、「サークル・同好会」、「日帰り社員旅行」の順ですが、女性は「花見（男性比+9.2ポイント）」、「バーベキュー」、「サークル・同好会（男性比+4.8ポイント）」、「日帰り社員旅行（男性比+7.0ポイント）」となりました。

調査概要

1. 調査対象 産能マネジメントスクール主催の新入社員セミナー参加者のうち
131社523人
2. 調査時期 2017年3月28日～4月12日
3. 調査方法 書面アンケートによる回答肢選択方式
4. 有効回答 519人
(男性356人・68.6%/女性163人・31.4%)

5. 所属企業プロフィール

(従業員数)	100人未満	77人	(14.8%)
	100人以上 500人未満	285人	(54.9%)
	500人以上 1,000人未満	113人	(21.8%)
	1,000人以上	44人	(8.5%)
		519人	(100.0%)
(上場区分)	上場企業	194人	(37.4%)
	非上場企業	283人	(54.5%)
	企業以外の法人・団体	38人	(7.3%)
	未回答	4人	(0.8%)
	519人	(100.0%)	
(企業所在地)	北海道	0人	(0.0%)
	東北	0人	(0.0%)
	関東	444人	(85.5%)
	中部	17人	(3.3%)
	近畿	46人	(8.9%)
	中国	1人	(0.2%)
	四国	7人	(1.3%)
	九州	4人	(0.8%)
		519人	(100.0%)

2017年度 新入社員の会社生活調査
調査結果

1. 就職活動について

- ・就職活動「大変だった」が、「結果には満足」
- ・就職先選びで重視したこと 男性のトップは「業種」(63.8%)、女性は「職務内容」(66.7%)

1-1. 就職活動を振り返って

2017年度入社の新入社員に就職活動を振り返ってもらったところ(P.12/問1)、「かなり大変だった」28.2%、「思ったより大変だった」40.9%で、合わせて69.1%が“大変だった”と回答し、昨年度より2.5ポイント減少しました。

一方、『就職活動の満足度』(P.13/問2)については、「たいへん満足」が52.7%、「やや満足」が41.3%で合わせて94.0%が“満足”しているようです。今年度は「たいへん満足」が昨年度に比べ4.1ポイント増加しました。この設問は1994年から継続して尋ねていますが、「たいへん満足」とする回答は、2012年度(53.1%)、2015年度(54.7%)、に次いで過去3番目に高い数値となっています。

1-2. 就職先選び

『就職先を選ぶ際に重視した項目』(P.14/問3)については、「業種」が最も高く61.6%、「職務内容(59.7%)」、「福利厚生(36.9%)」、そして「給与水準(35.5%)」と続いています。

男女で違いが見られたのは、男性は「企業規模」(女性比+9.4ポイント)、「業種」(女性比+7.0ポイント)が女性より多く、女性は「企業風土」(男性比+13.7ポイント)、「職務内容」(男性比+10.2ポイント)、「転勤の有無」(男性比+7.9ポイント)などが男性よりも高くなりました。

2. 仕事観／キャリアについて

- ・働く上で重要なこと 「長期間安心して働くこと」
- ・働き始めるにあたって不安なこと 「上司・先輩とうまくやっていけるか」

2-1. 働く上で重要なこと

『これから働く上で重要だと思うこと』（P. 16／問4）は、「長期間、安心して働くこと」（57.6%）が最も高くなりました。男女別に見ると、男性は「長期間、安心して働くこと」（56.7%）が最多ですが、女性は「仕事を通じて自分自身が成長すること」（62.0%）が一番多くなっています。

男女差が大きい項目は、男性は「昇進することやリーダーになること」（女性比+12.0%）、女性は「仕事を通じて自分自身が成長すること」（男性比+7.5%）、「職場のメンバーから認められること」（男性比+6.3%）でした。

2-2. 働き始めるにあたって不安なこと

『働き始めるにあたり、不安に思っていること』（P. 17／問5）の上位3項目は、①「上司・先輩とうまくやっていけるか」（67.8%）、②「自分の能力で仕事をやっていけるか」（64.5%）、③「プライベートの時間を確保できるか」（35.8%）となりました。これら3項目はいずれも女性の数値が高く、①71.8%（男性比+5.8%）、②69.3%（男性比+6.9%）、③36.8%（男性比+1.4%）となっています。2015年度調査からの経年比較で見ると、「仕事が多すぎないか」、「自分のやりたい仕事ができるか」の2項目が2年連続で増加しています。

2-3. キャリアについて

『将来の進路としてどのような方向を望むか』（P. 18／問6）については、「管理職」と「担当業務のエキスパート」がいずれも45.6%で並びました。男女別に見ると、男性は「管理職になる」（54.6%）が最も多く、女性では「担当業務のエキスパートとなる」（66.9%）がそれぞれ最も多くなっています。

2-4. 転職について

『転職から受けるイメージ』（P. 20／問7）について、「キャリアアップ」と「挫折」の二択で回答してもらったところ、「キャリアアップ」が63.3%、「挫折」が36.7%となりました。

3. 規定労働時間外／将来について

- ・月の残業時間 「30時間以上は許容できない」約7割
- ・参加したい業務外の任意の集まり 1位飲み会 2位BBQ 3位サークル・同好会
- ・転勤は、転居・期間にかかわらずOK 4人に1人

3-1. 目標とする地位

『目標とする役職・地位』（P. 21/問8）については、「社長」（10.6%/前年比+1.1㊦）、「役員」（21.7%/前年比+3.1㊦）、「部長クラス」（20.1%/前年比-1.0㊦）、「課長クラス」（5.6%/前年比-5.1㊦）、「係長クラス」（2.9%/前年比±0㊦）、「地位には関心がない」（39.1%/前年比+1.9㊦）となりました。女性は「部長クラス」とする回答が過去2番目に高くなりました。

3-2. 許容できる残業時間

『1ヵ月の残業時間は、何時間程度許容できるか』（P. 23/問9）について、時間単位で選択してもらいました。全体の約7割が「30時間まで」の選択肢を選んでいきます。男女別にみると男性は「21～30時間」（25.6%）、女性は「11～20時間」（34.4%）が最も多くなりました。

3-3. 業務外の任意の集まりで参加したい行事

『業務外の任意参加の集まりで参加したいもの』（P. 24/問10）を複数回答で尋ねました。その結果、1位「飲み会」（78.1%）、2位「バーベキュー」（62.9%）、3位「サークル・同好会」（54.7%）となりました。

男女差の大きい項目は、「社員旅行（宿泊）」（男性49.3%/女性比+9.2㊦）、「花見」（女性59.3%/男性比+9.2㊦）、「運動会」（男性39.4%/女性比+7.9㊦）「社員旅行（日帰り）」（女性57.4%/男性比+7.0㊦）となりました。

3-4. 転勤について

『転勤についてどのように考えているか』（P. 25/問11）について、「一度も転勤せずに同じ場所で働き続けたい」（28.0%）が一番多く、女性だけで見ると35.2%と高い数字になっています。

「転居を伴う場合でも期間が限定されていれば転勤してもよい」が全体27.6%で続き、「転居の有無、期間に関係なく転勤してもよい」が24.7%、「転居を伴わないのであれば転勤してもよい」が19.6%と分かれました。男性は「転居を伴う場合でも期間が限定されていれば転勤してもよい」が28.4%で一番多く、「転居の有無、期間に関係なく転勤してもよい」（28.2%）が続きます。

4. 待遇・雇用制度について

- ・「60歳を超えても働きたい」 男性は約4割／女性2割未満
- ・35歳時点での理想の年収 男性＝645万円（前年比－35万円）
女性＝508万円（前年比＋8万円）

3-1. 定年

『いつまで働きたいか』（P. 26／問12）について、男性は「60歳」が最も多く52.3%、次いで「65歳」29.7%、「定年なし」は11.6%となりました。男性の約94%が少なくとも60歳までは働きたいと回答しました。一方で、女性も「60歳」が34.2%で一番多くなっていますが、次いで「結婚や出産まで」（29.8%）、「50代」（20.5%）と回答し、現在、多くの企業で定年の年齢としている60歳まで働きたいとする回答は約半数にとどまりました。

3-1. 人事制度

『年功序列と成果主義のどちらを望むか』（P. 27／問13）を二者択一で尋ねた結果、「成果主義」が54.5%、「年功序列」が45.5%となりました。男女別に「成果主義」を見ると、男性は53.2%、女性は57.1%で、女性の方が実力で勝負する成果主義を支持しています。この設問を始めた2006年度以降では、2007年度を除き、すべて女性が上回っています。

また、『終身雇用制度を望むか』（P. 29／問14）では、「望む」が71.8%、「望まない」が28.2%となりました。これは男女別でもほとんど差がありません。

3-3. 理想年収額

『35歳時点での理想の年収額』（P. 30／問15）について、加重平均値を算出したところ、全体では「604万円（6,039,582円）」でした。男女別に見ると男性は「645万円（6,446,024円）」、女性は「508万円（5,075,000円）」となりました。全体では前年比マイナス23万円で、男性が同マイナス35万円、女性は同8万円増となりました。女性は初めて500万円台となりました。

5. SNS・デジタルスキルについて

- ・知人・友人との連絡はLINE 99%／業務ではEメールを使いたい約7割
- ・上司からの友達申請 “嫌だ” とする回答が過半数を占める

4-1. 連絡のツールの使用

『知人・友人と連絡する際に使用しているツール』（P. 31／問16）について複数回答で尋ねました。その結果「LINE」を使っている率が最も高く全体では98.8%となり、次いで「電話」（52.9%）、「Twitter」（51.0%）、「Eメール」（34.2%）となりました。

利用率の高い「LINE」ですが、『LINEなどのメッセージアプリを業務でも使いたいか』（P. 32／問17）を尋ねたところ、68.4%が「業務ではEメールを使いたい」としており、特に女性では、72.8%になります。プライベートは「LINE」、業務は「Eメール」と使い分けをしたいようです。

4-2. 上司からのSNS“友達申請”（リクエスト）

『上司からSNSで“友達申請”（リクエスト）があったらどう思うか』（P. 33／問18）という問いには、「嫌だ」が18.7%、「どちらからと言えば嫌だ」が35.6%で、合わせて54.3%（前年比-0.9%）となり、3年連続で否定的に受け止める意見が半数を超えています。女性は「どちらかと言えば嫌だ」が40.5%、「嫌だ」は22.1%で、合わせて62.6%が否定的です。

“うれしい”（「うれしい」+「どちらかと言えばうれしい」）、「嫌だ」（「嫌だ」+「どちらかと言えば嫌だ」）とする回答者それぞれに回答理由を尋ねました。

『“うれしい”と思う理由』（P. 34／問19）は、「仕事以外で接点を持てるから」（50.6%）が最多で、「信頼されていると思うから」（25.7%）、「業務連絡等に使えるから」（12.7%）と続いています。

一方、『“嫌だ”と思う理由』（P. 35／問20）には、「公私は分けたいから」（73.2%）が最も多く、昨年度より5.2ポイント増加しました。この設問を始めた2014年度以降、一番高い率となっています。

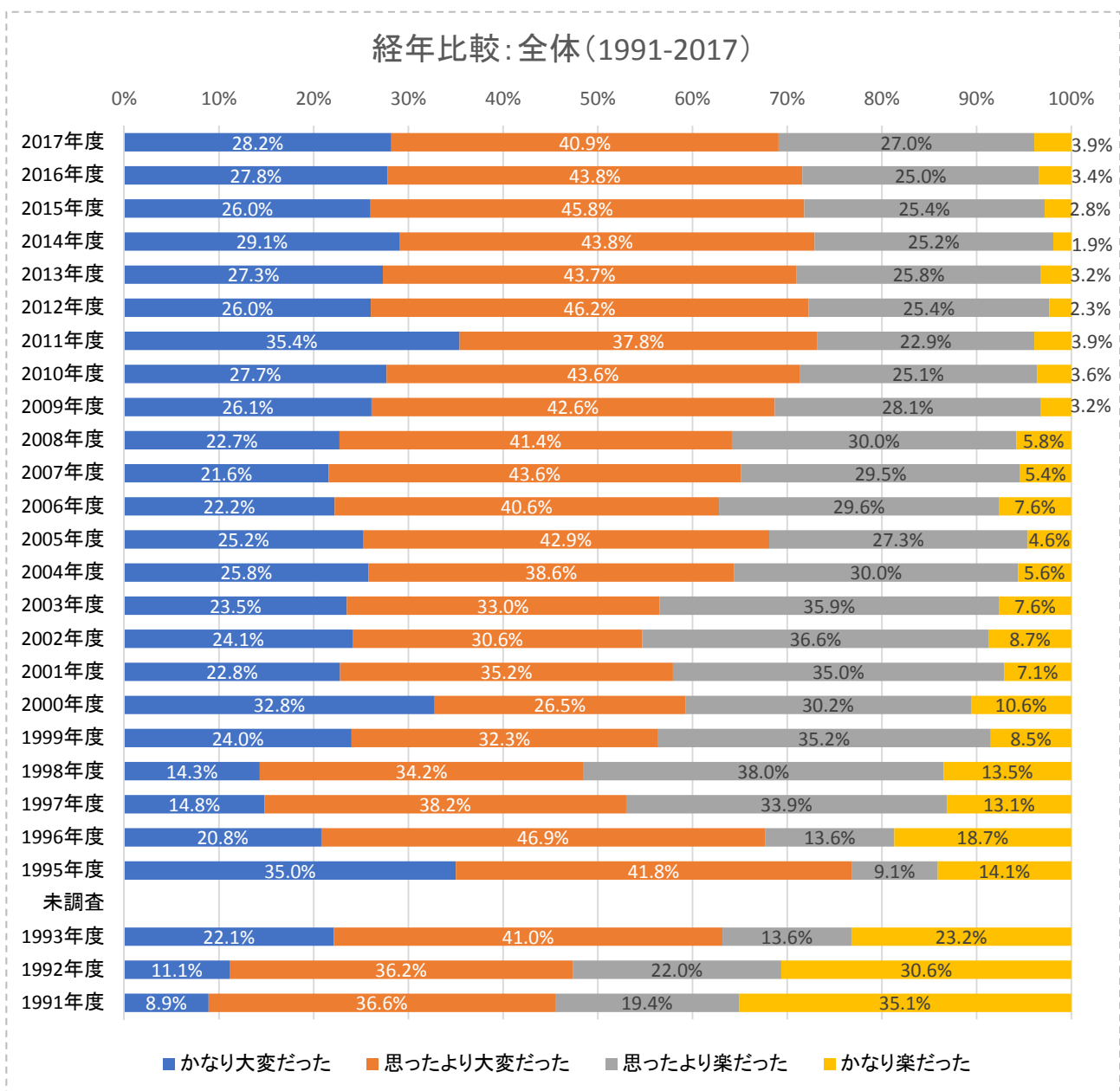
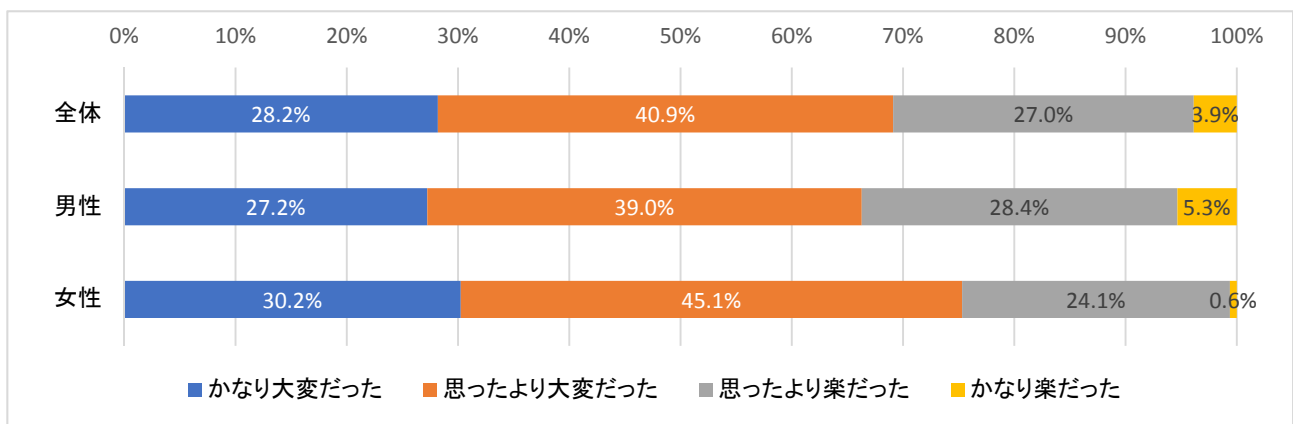
『仕事で使えると思うデジタルスキル』（P. 36／問21）について尋ねると、全体で「Word」（91.5%）、「Power Point」（76.9%）、「Excel」（71.2%）とビジネス上でも基本的に必要となるスキルには自信があるようです。

いずれも女性の方が男性より「Word」で6.0ポイント、「Power Point」で、1.7ポイント、「Excel」で1.6ポイント高くなっています。

2017年度 新入社員の会社生活調査
データ集

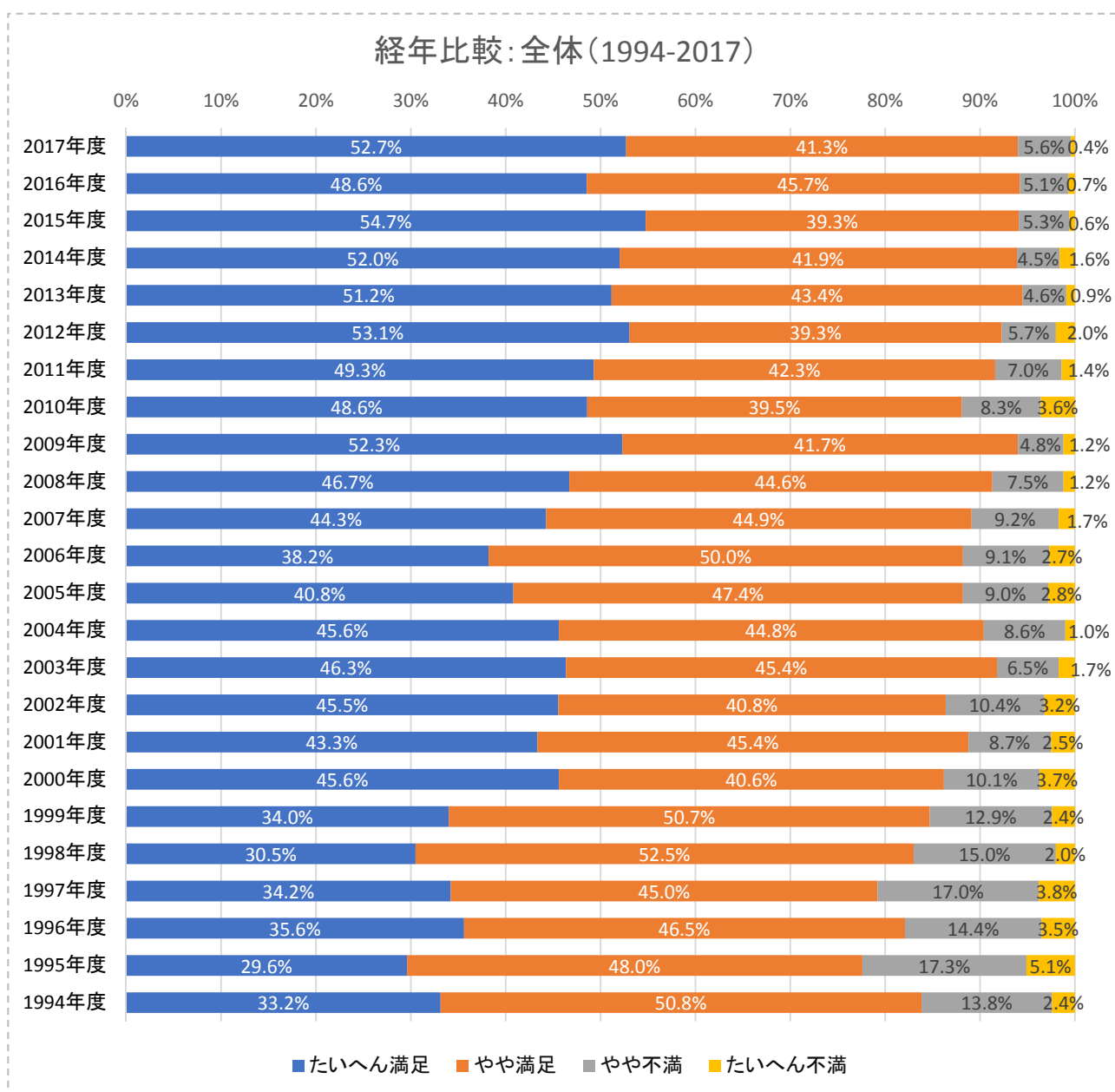
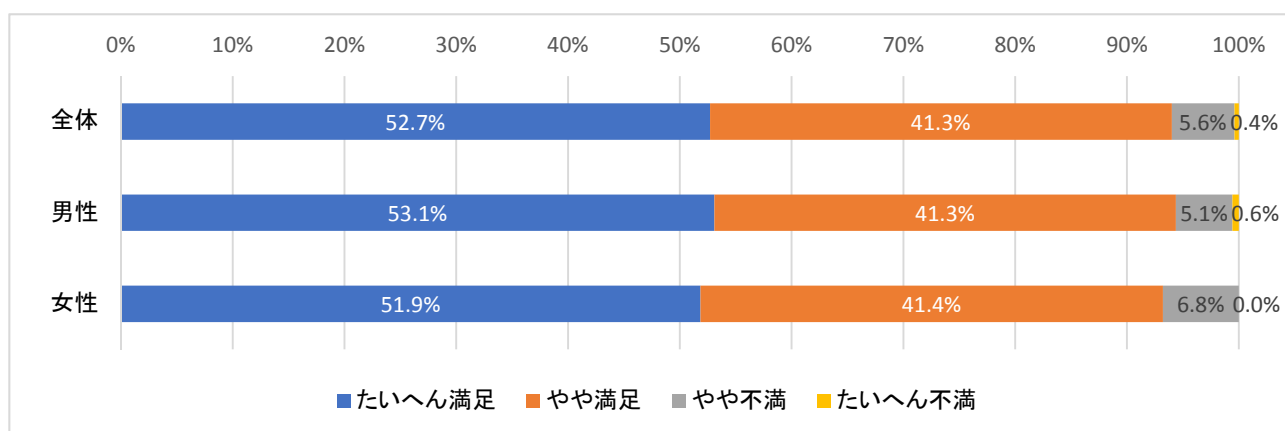
問1. 就職活動を振り返って、どのように感じましたか？

(n=518)



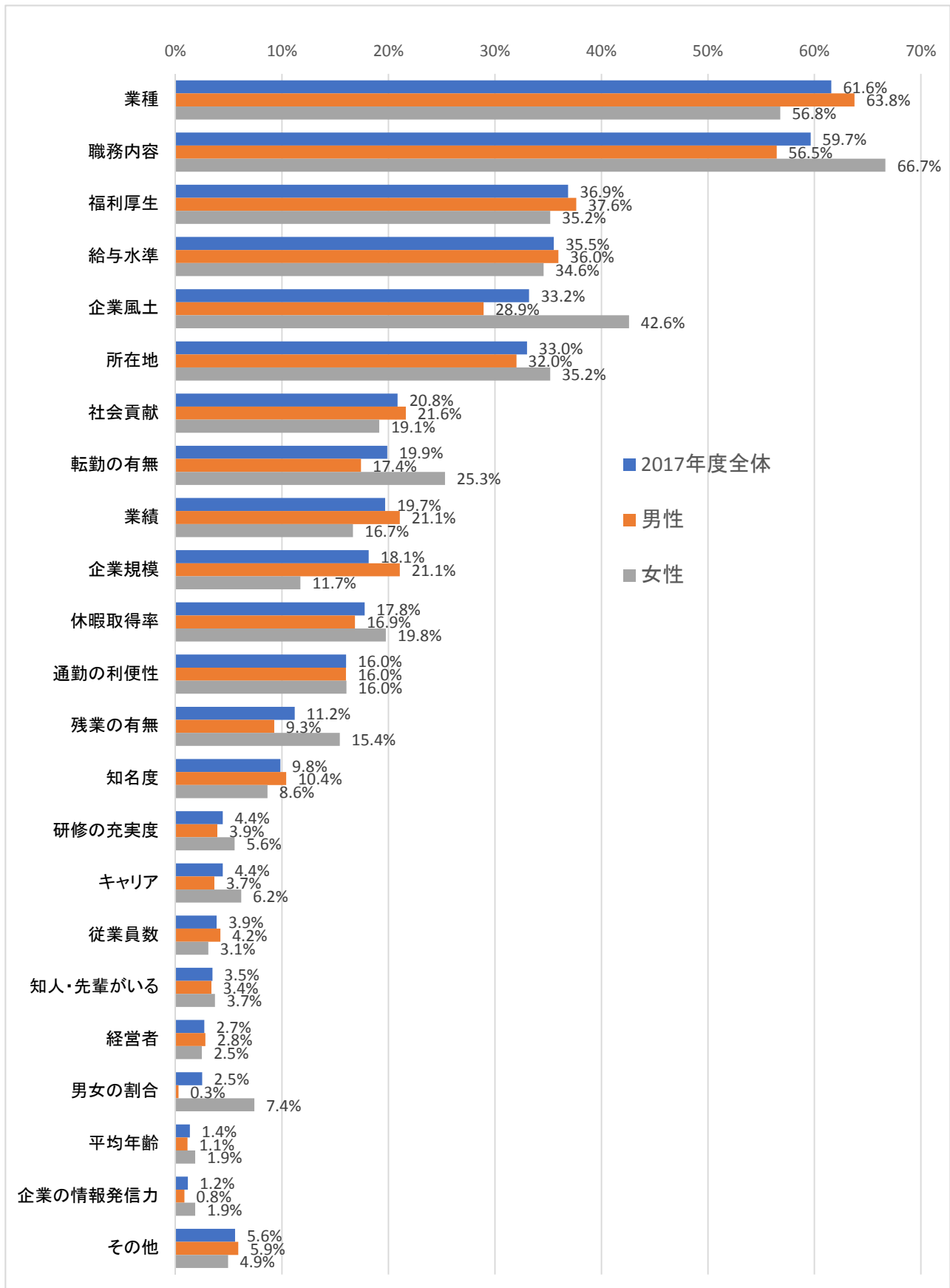
問2. 就職活動の結果に満足していますか？

(n=518)

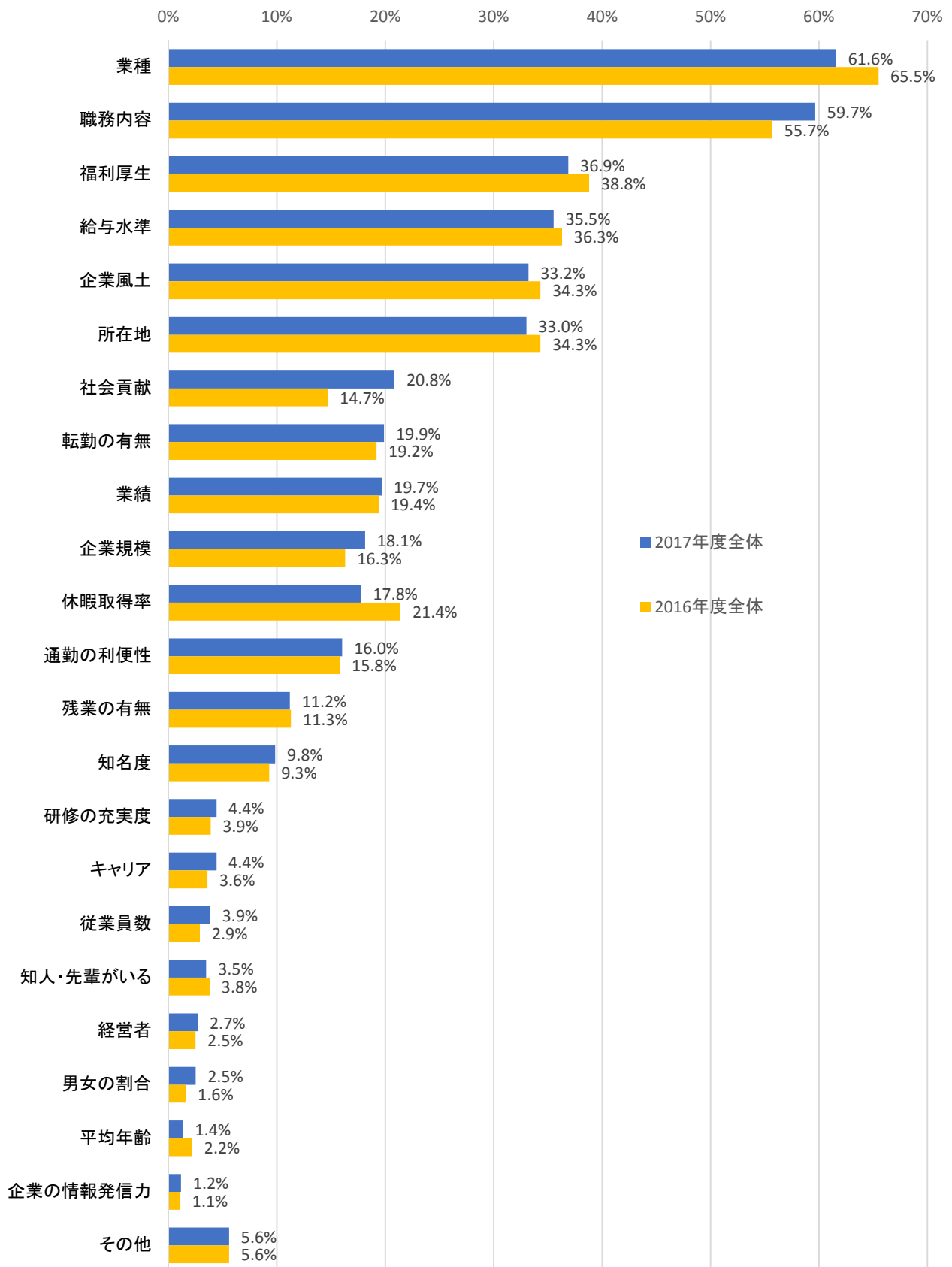


問3. 就職先を選ぶ際に重視した点はなんですか？（5つまで選択）

(n=518)

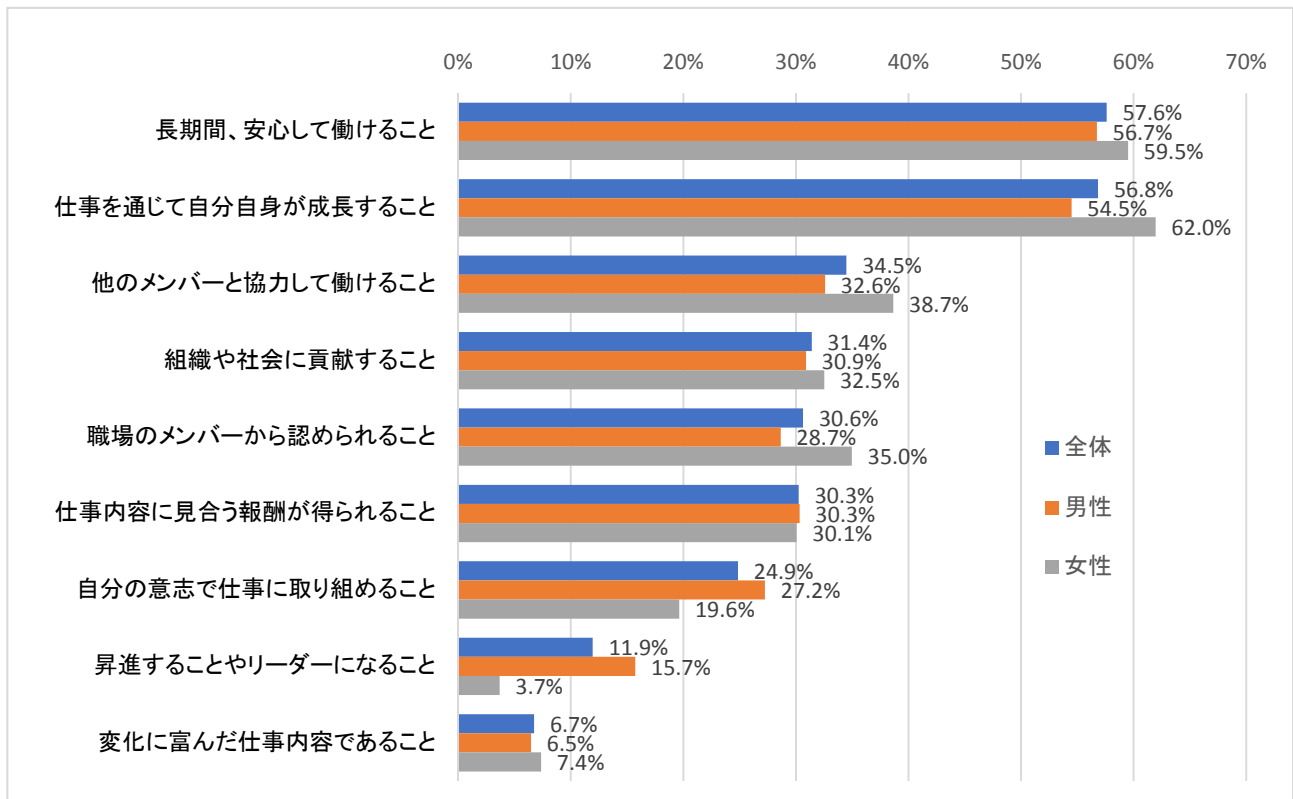


経年比較:全体(2016-2017)

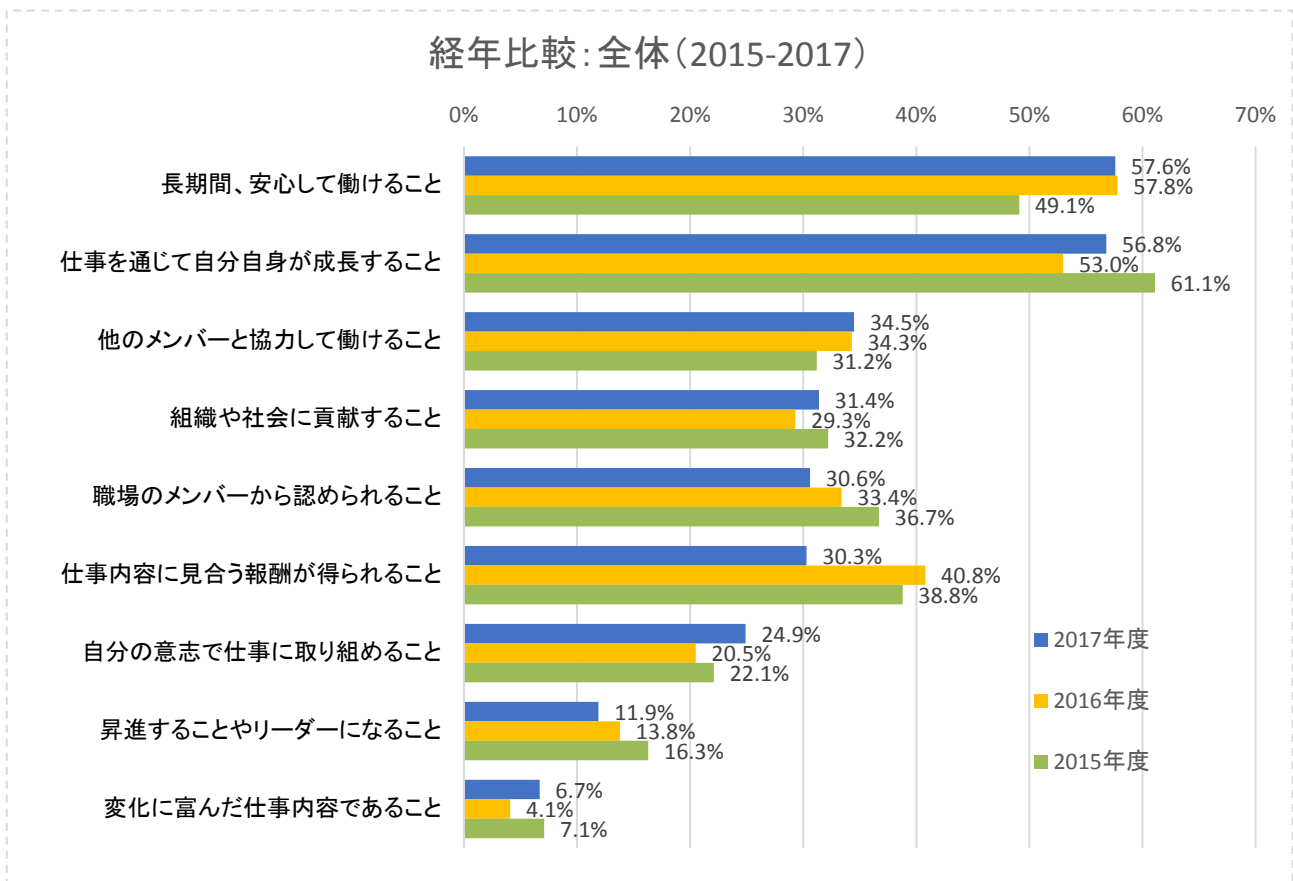


問4. あなたは「働く」うえで、どのようなことが自分にとって重要だと感じますか？（3つまで選択）

(n=519)

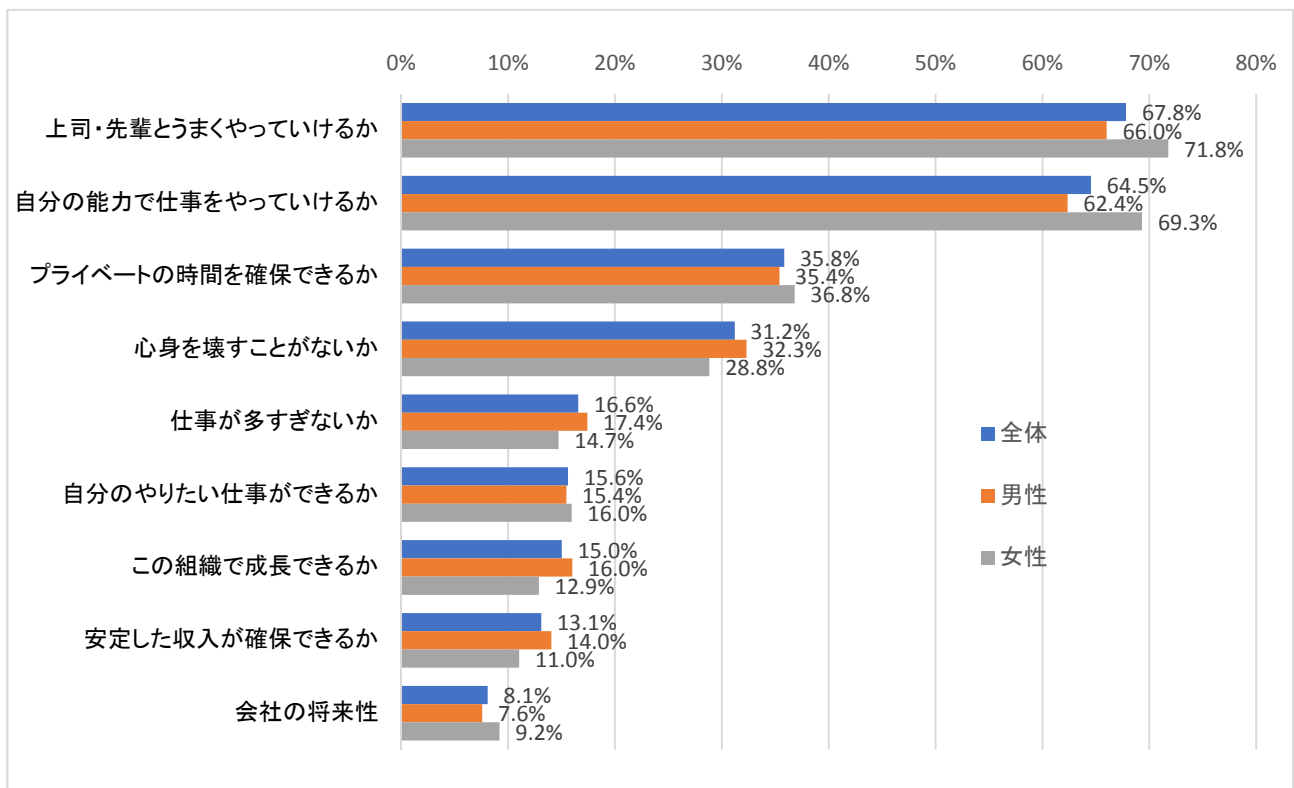


経年比較：全体（2015-2017）

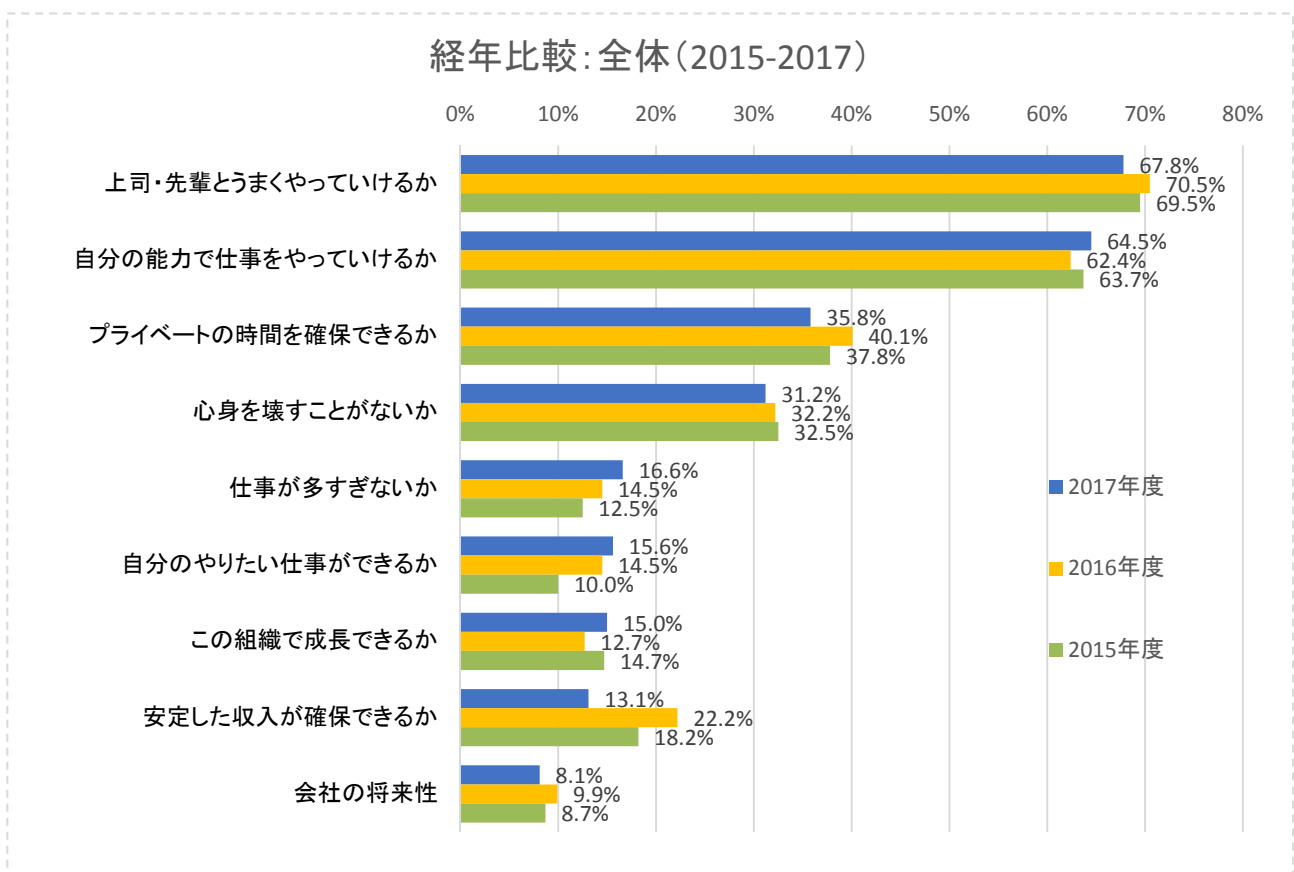


問5. 働き始めるにあたって、不安に思っている事は何ですか？（3つまで選択）

(n=519)

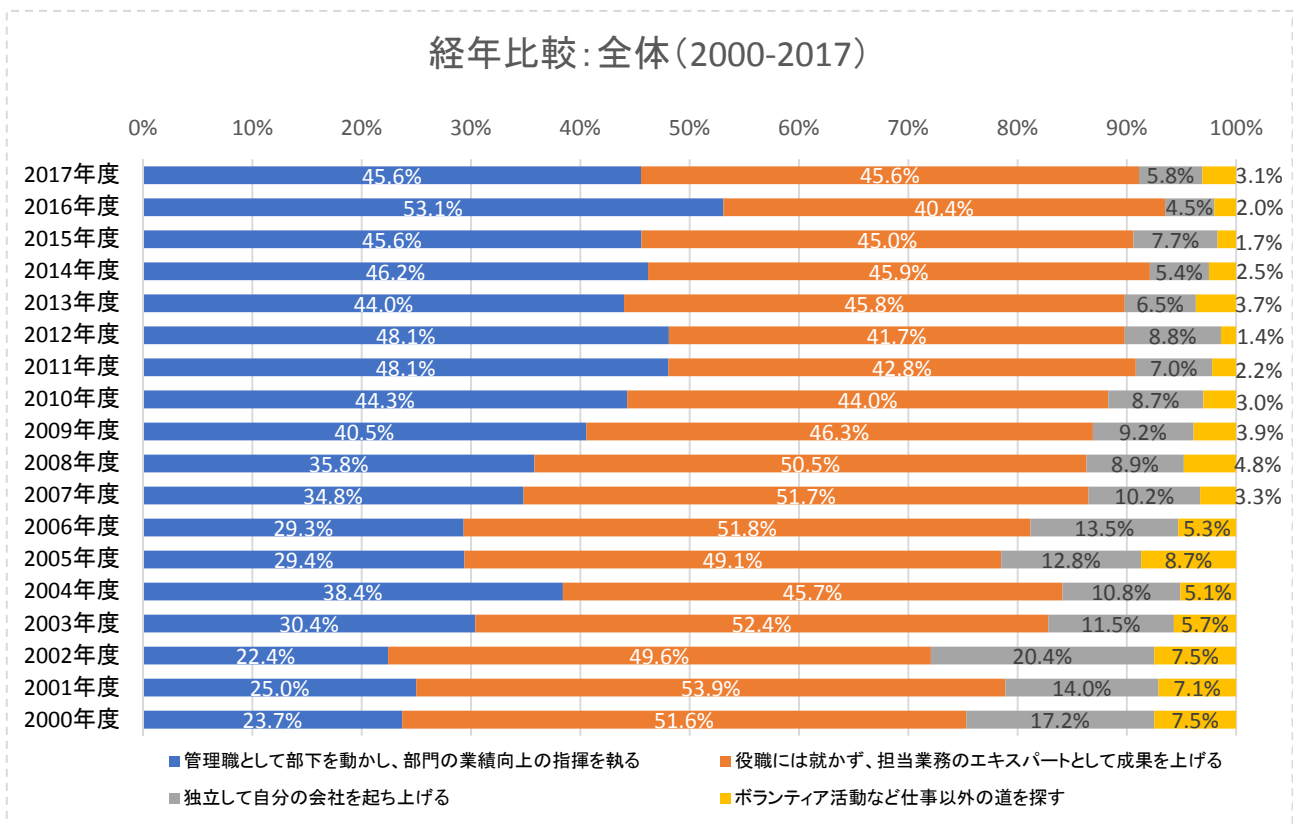
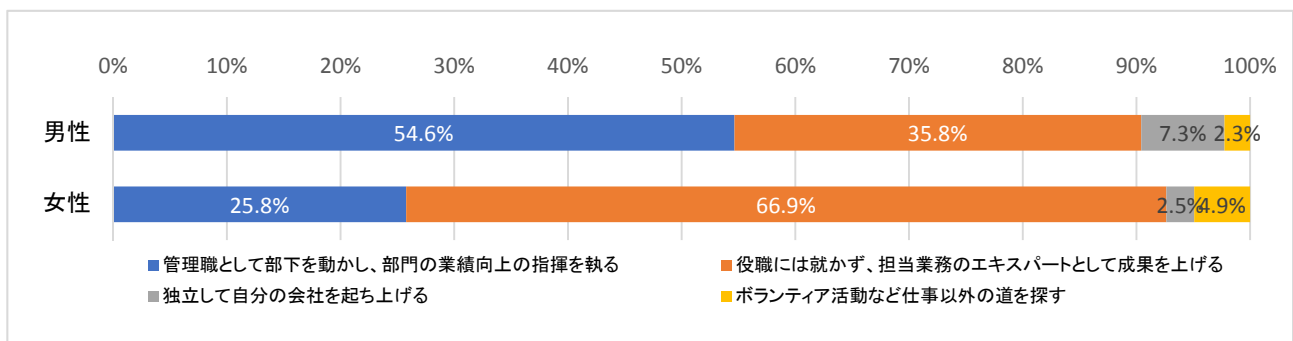
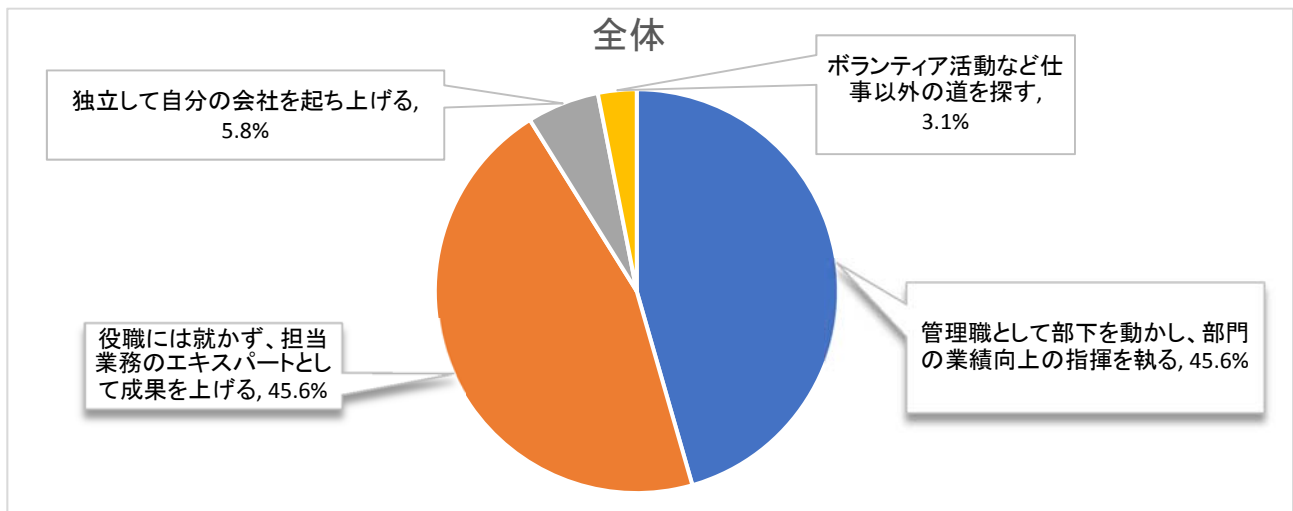


経年比較: 全体 (2015-2017)

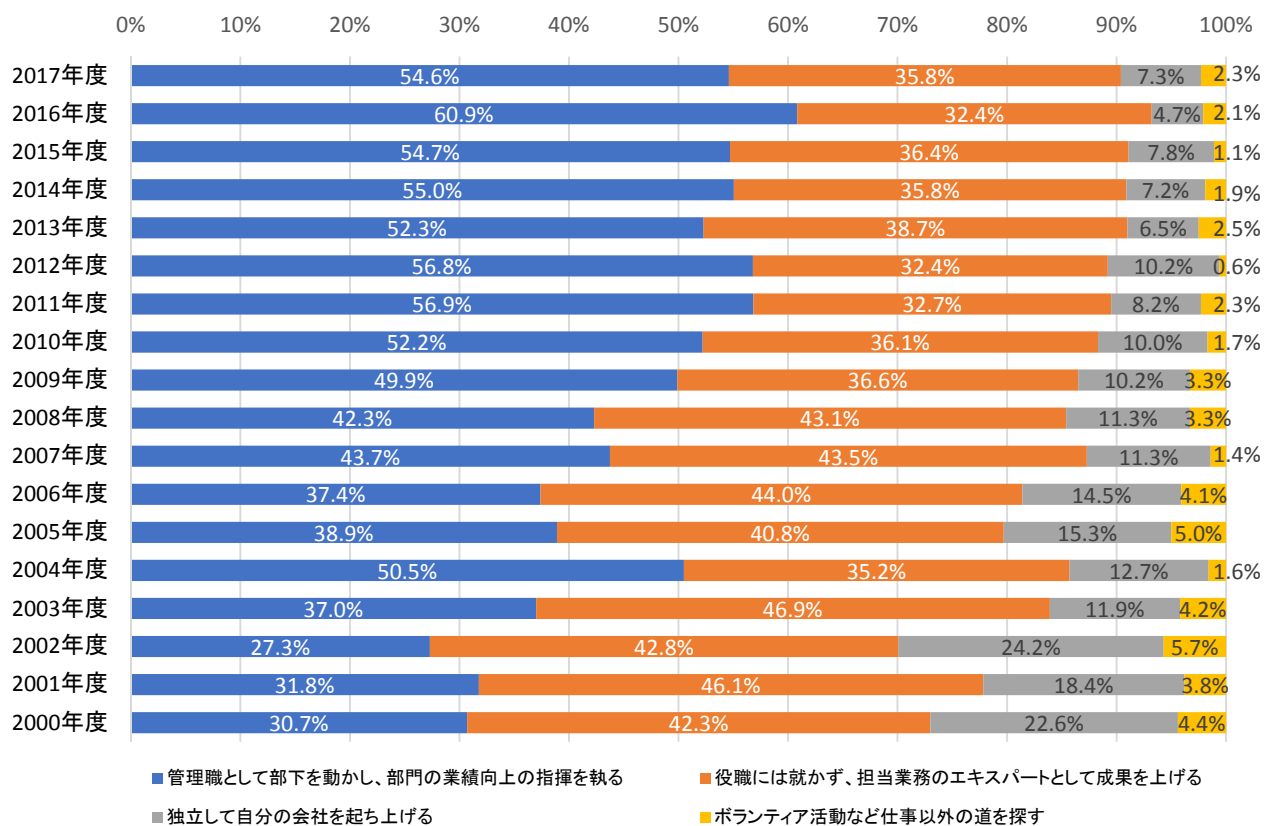


問6. 将来の進路としてどのような方向を望みますか？

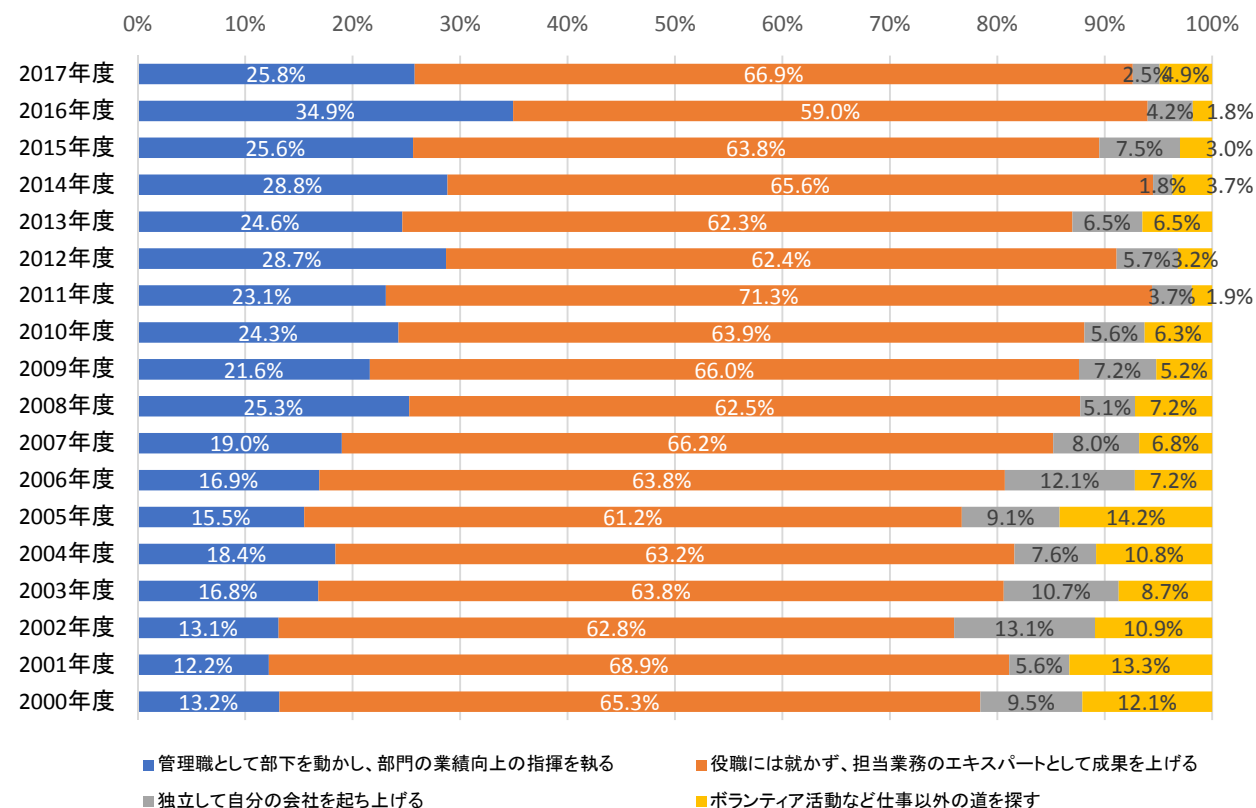
(n=518)



経年比較: 男性 (2000-2017)

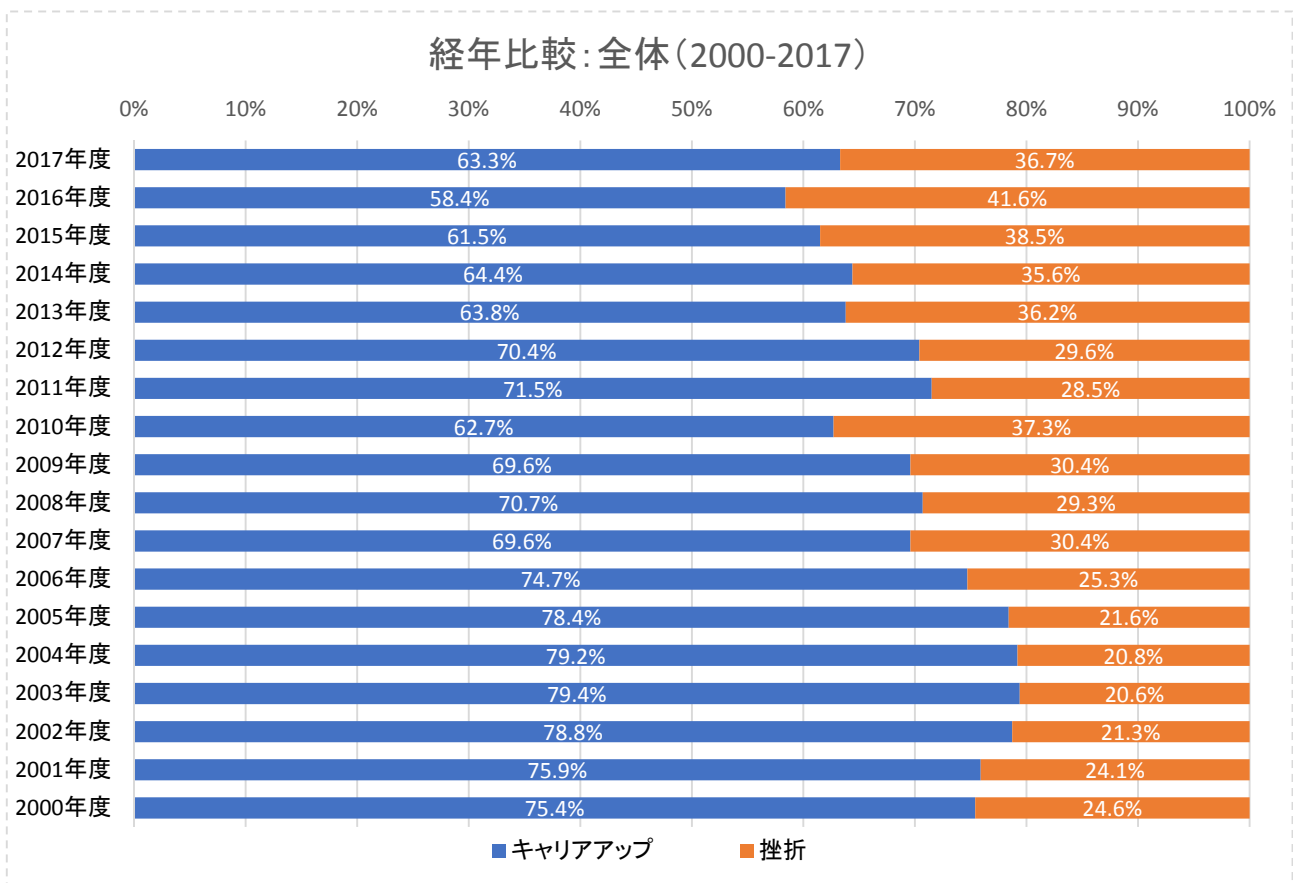
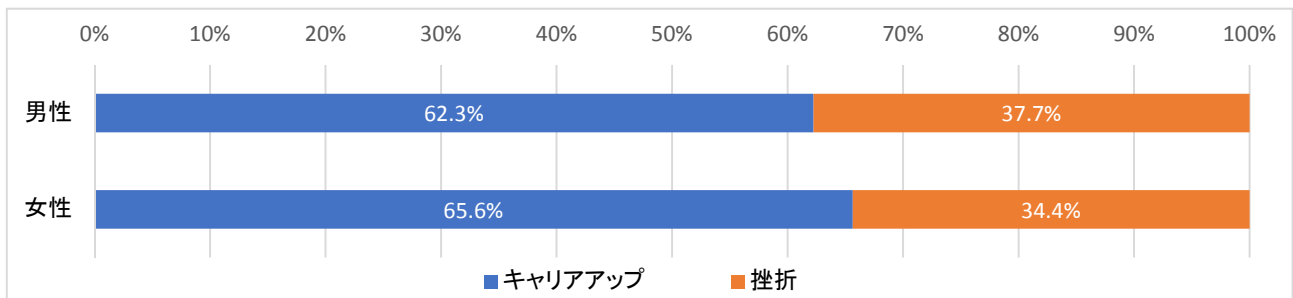
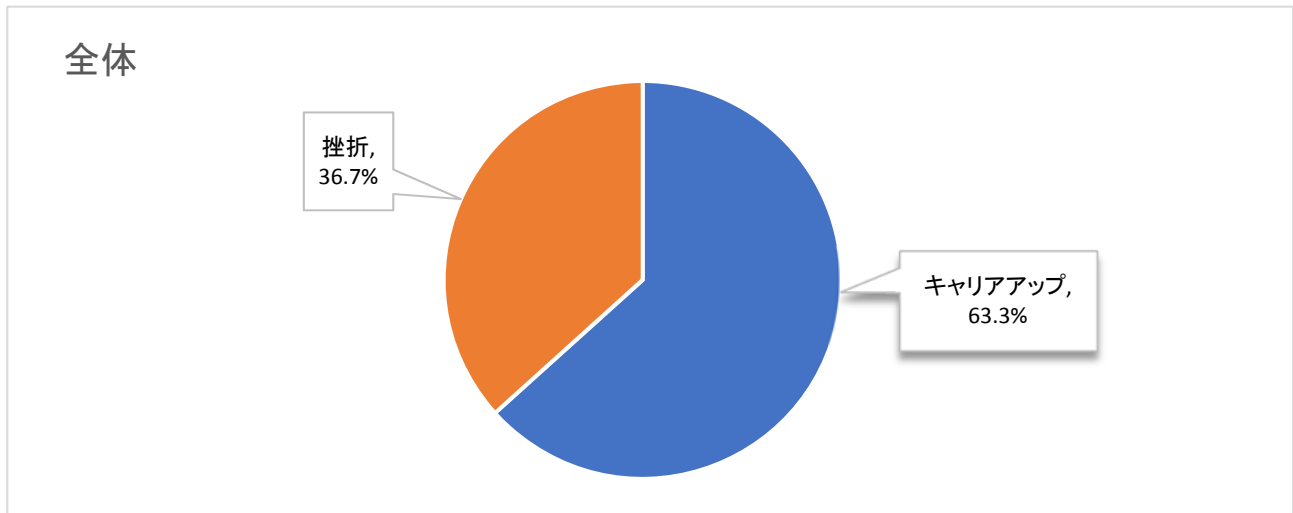


経年比較: 女性 (2000-2017)



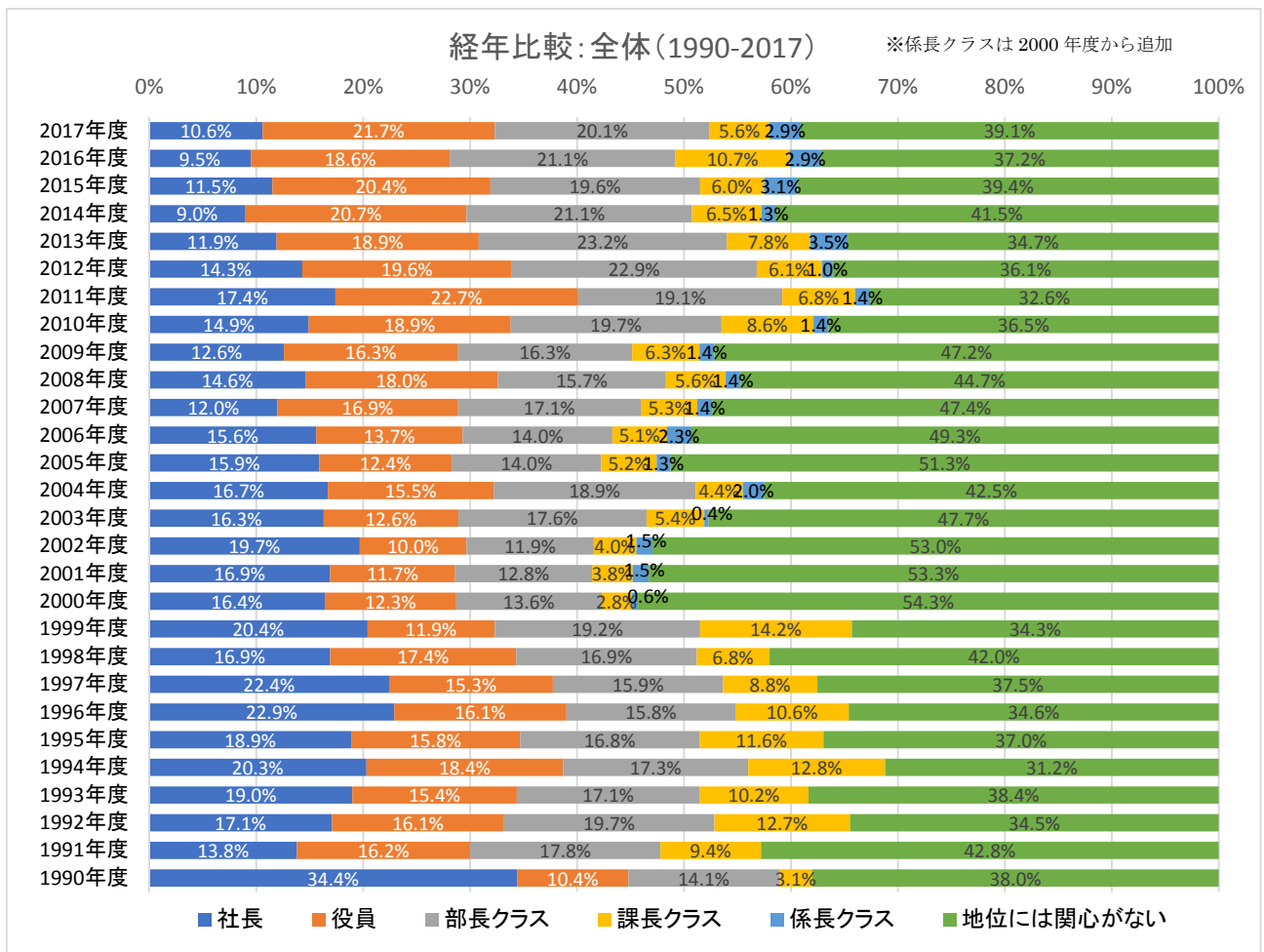
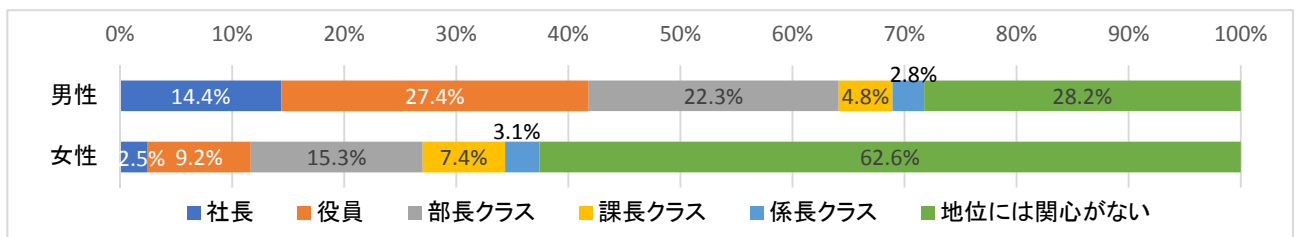
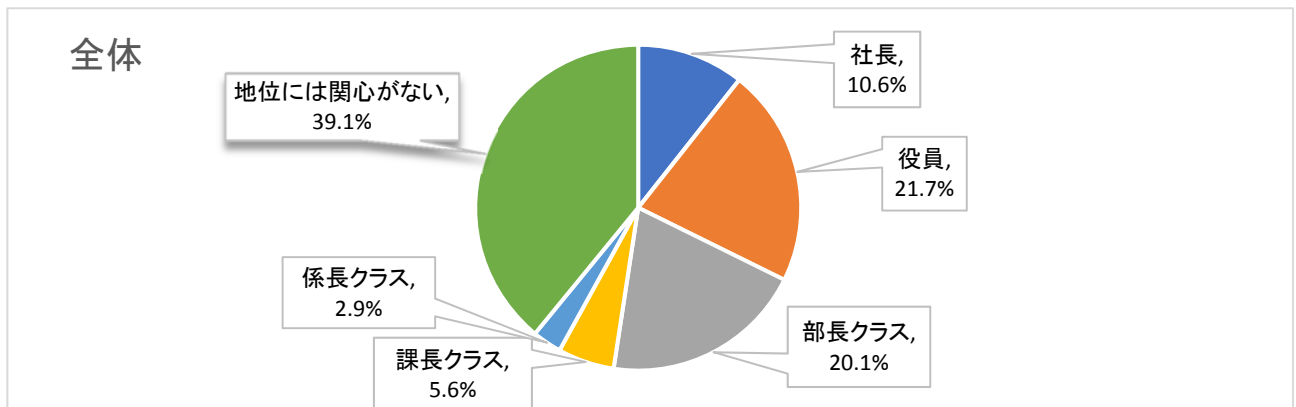
問7. 転職から受けるイメージとしてより強く感じるのはどちらですか？

(n=518)



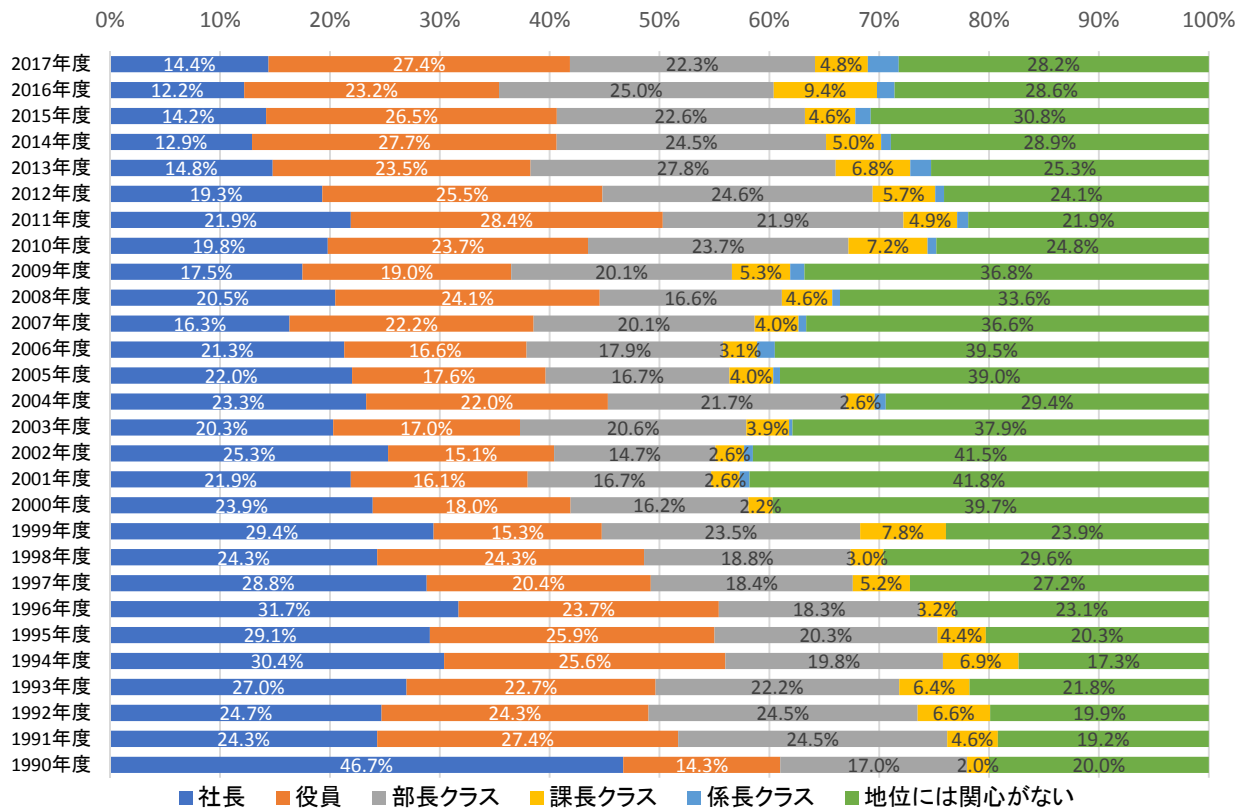
問8. あなたが目標とする役職・地位は？

(n=517)

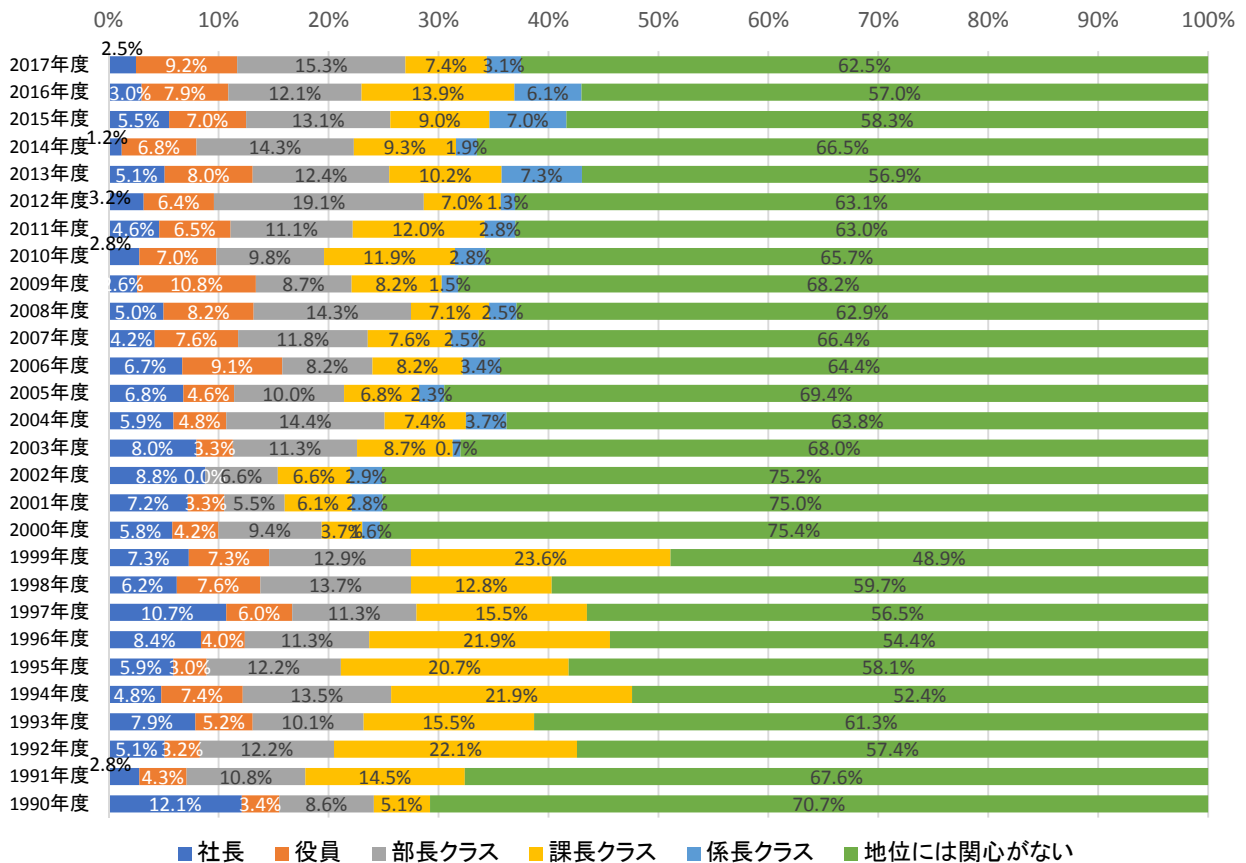


経年比較: 男性(1990-2017)

※係長クラスは 2000 年度から追加

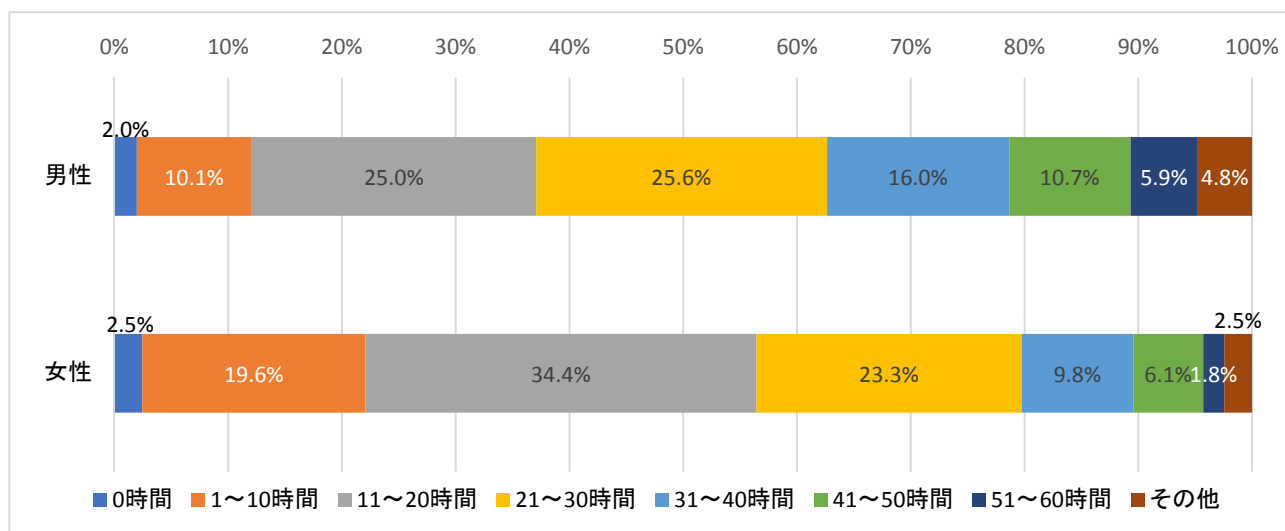
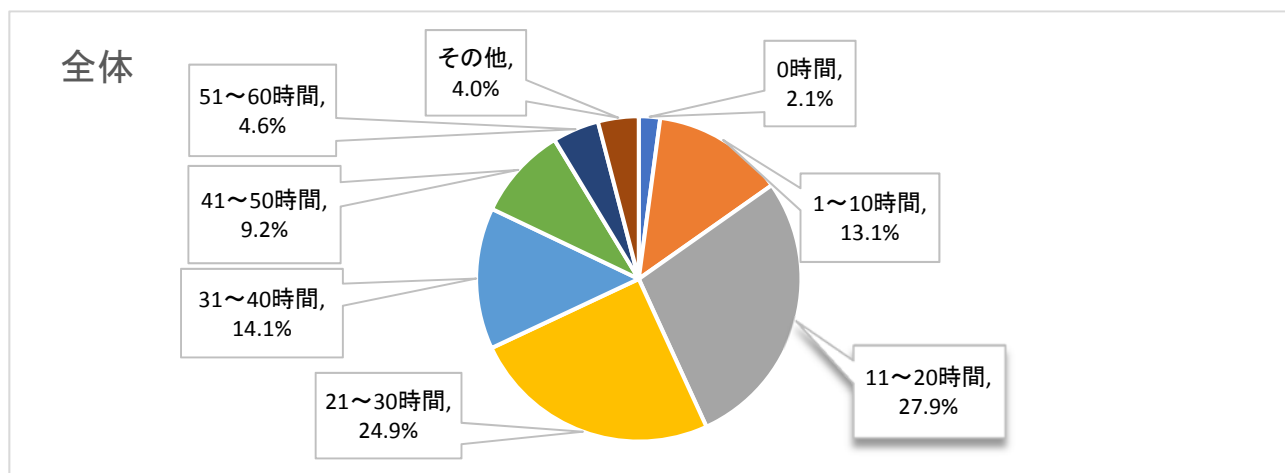


経年比較: 女性(1990-2017)



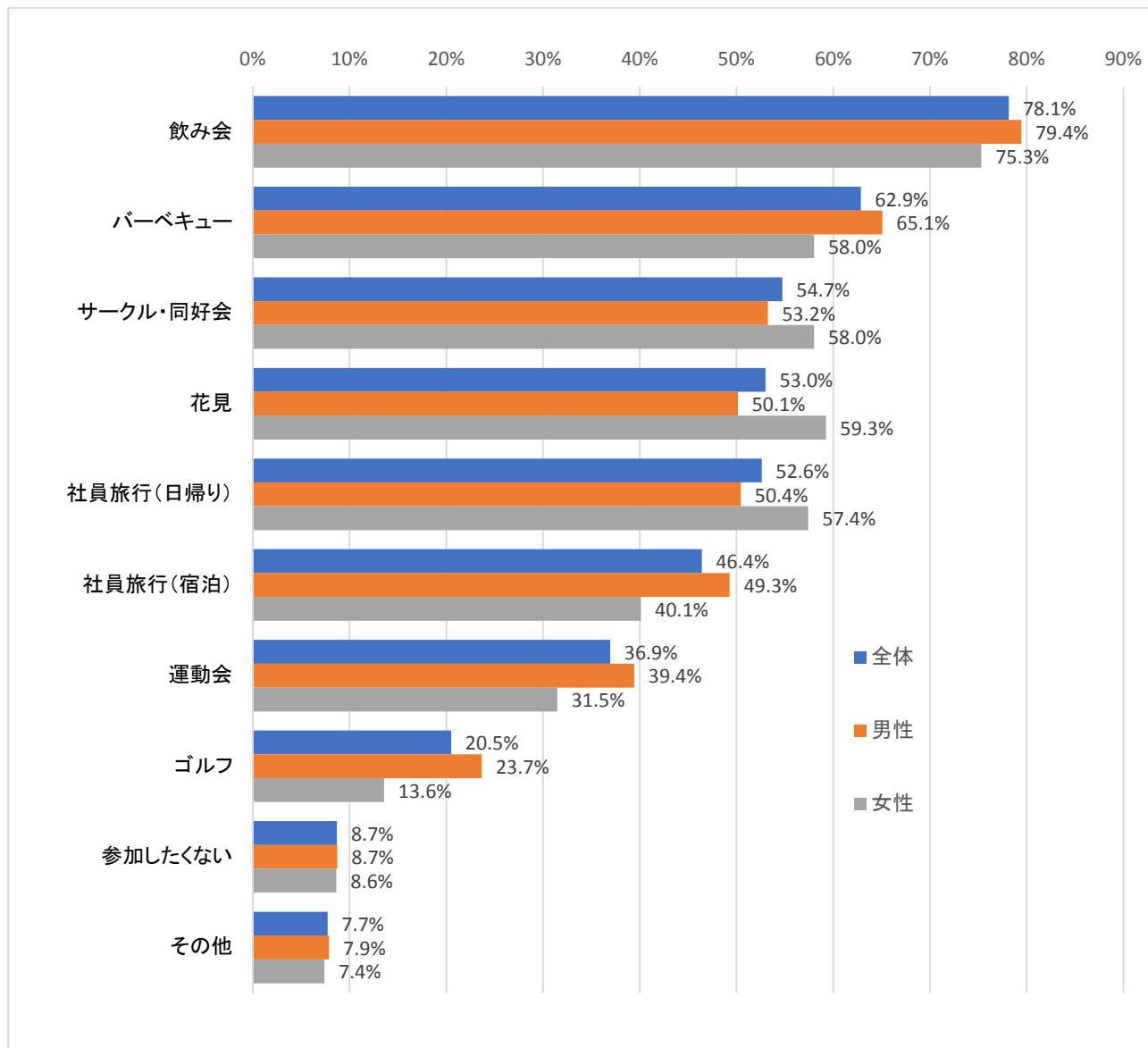
問9.1 カ月の残業時間について、あなたは何時間程度なら許容できますか？

(n=519)



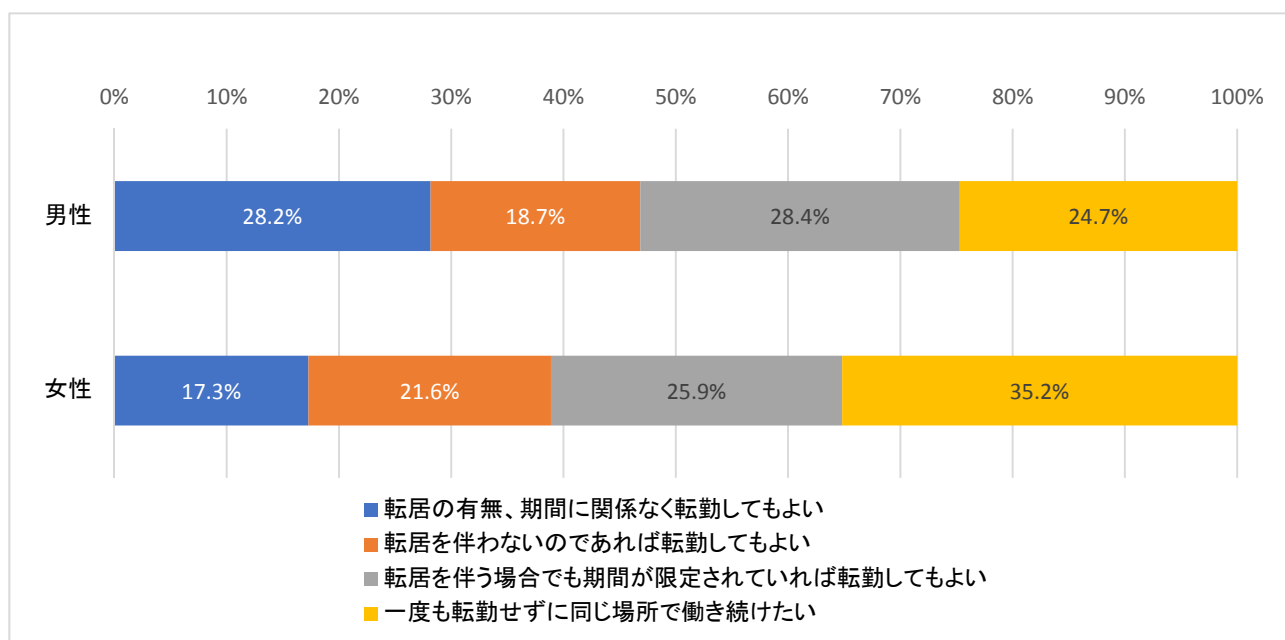
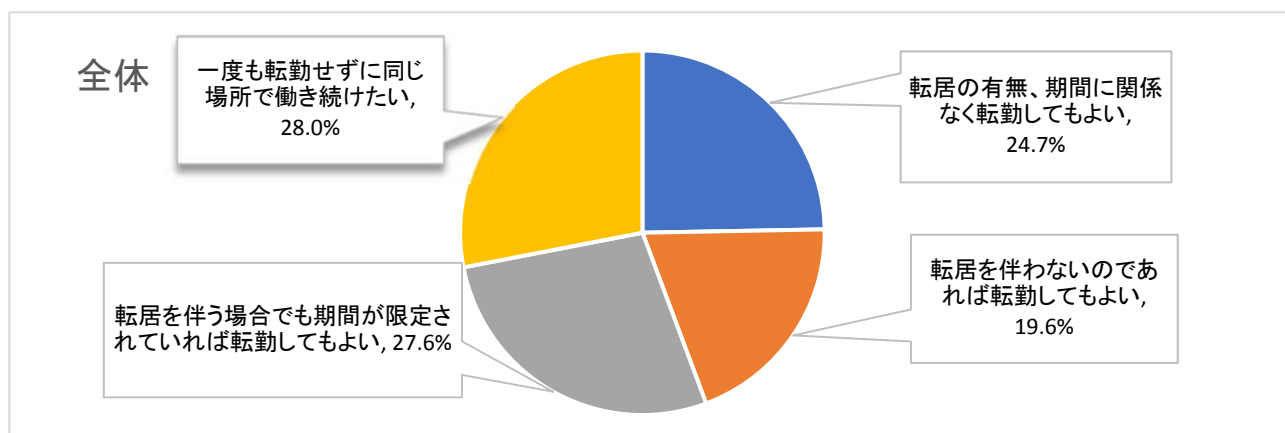
問10. 以下のような業務外の集まり(任意参加)があった場合、参加したいものをいくつかでもお選びください(複数回答)

(n=519)



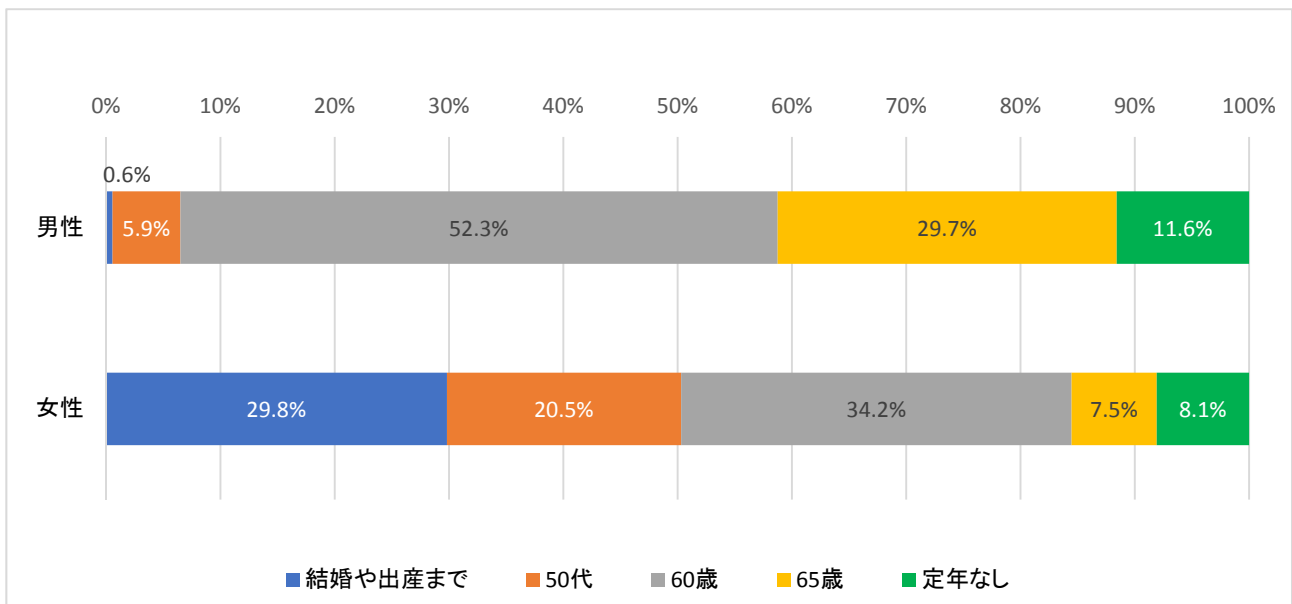
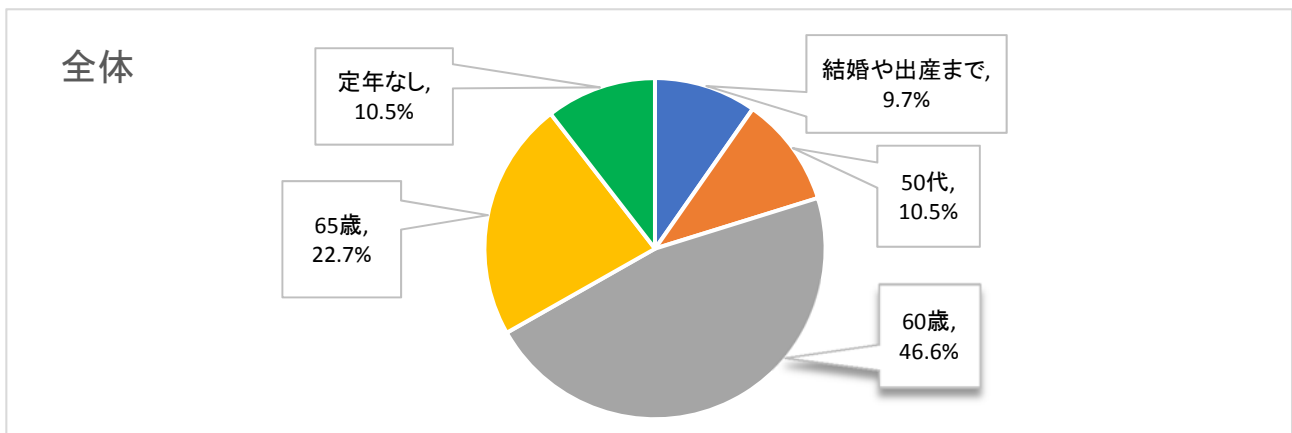
問11. あなたは「転勤」についてどのように考えていますか？

(n=510)



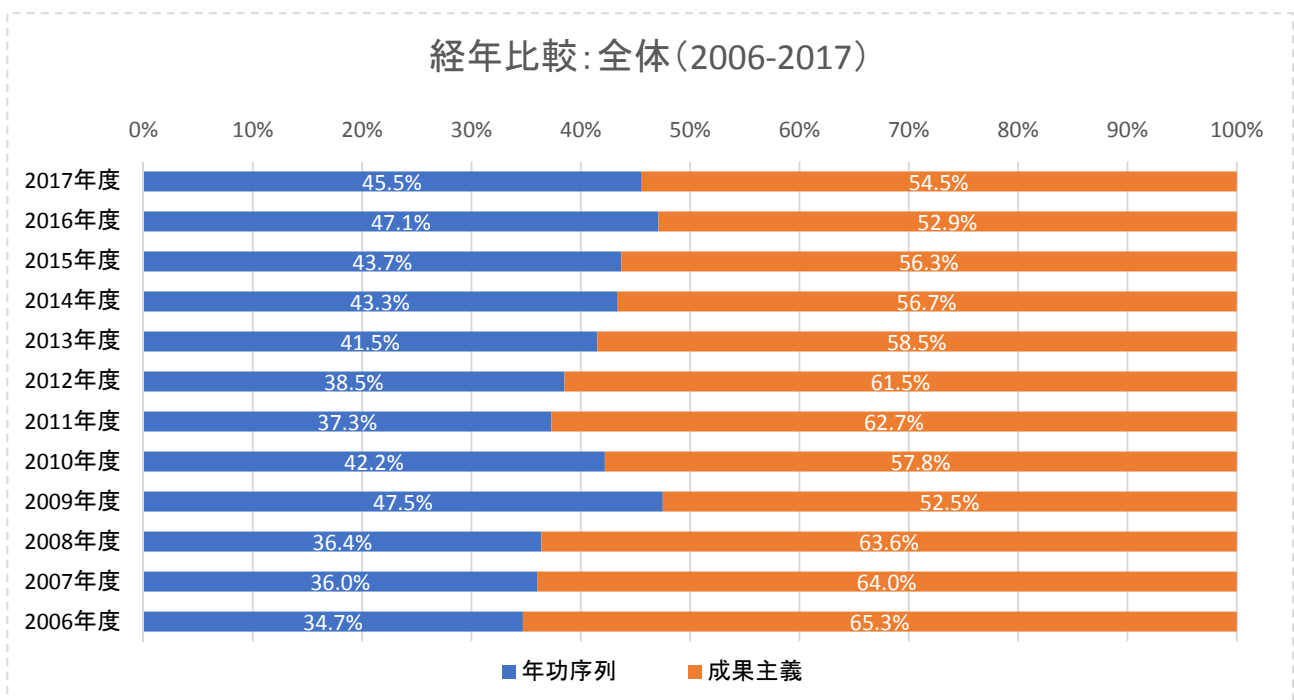
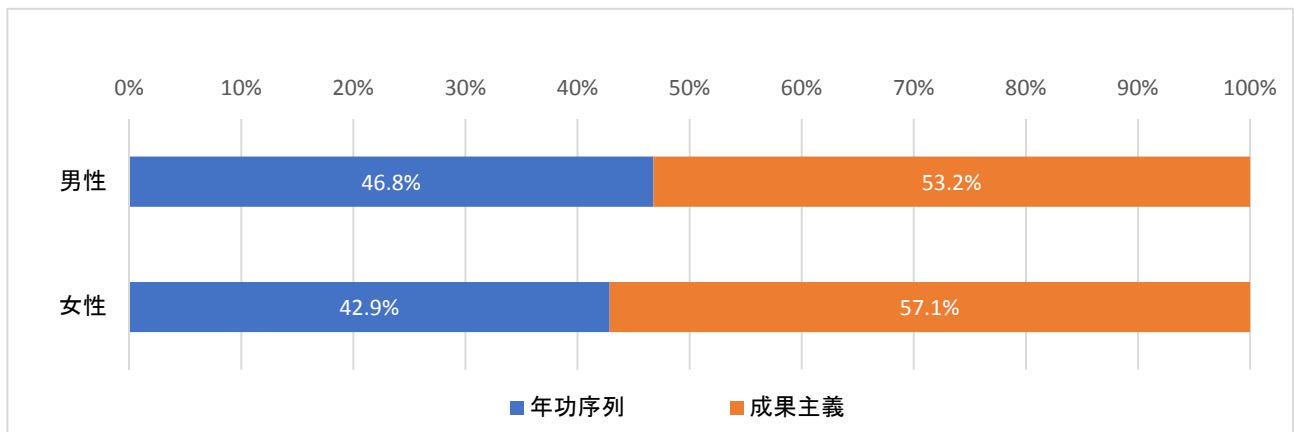
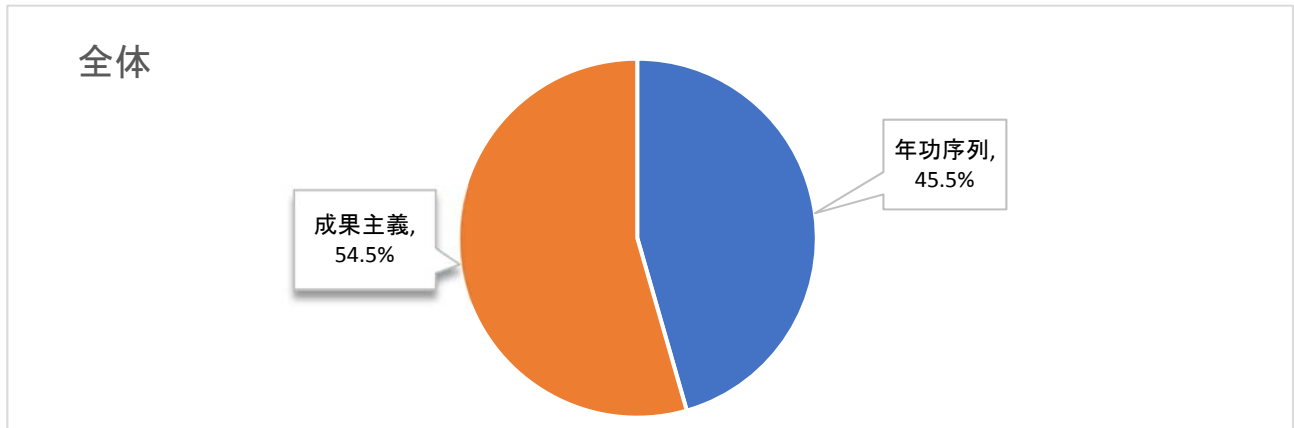
問12. あなたはいつまで働きたいと思いますか？

(n=515)

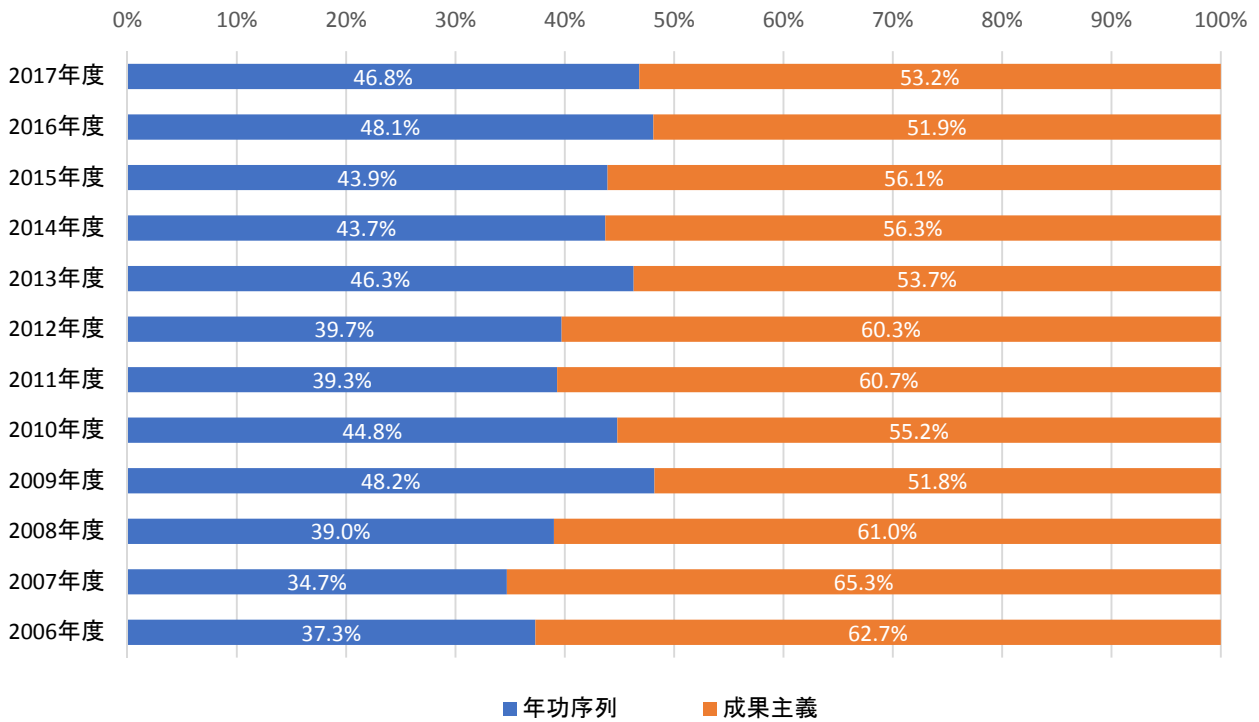


問 1 3. 年齢や在籍年数に応じて昇進や待遇が決まる年功序列的な人事制度と、業績に応じて決まる成果主義的に人事制度ではどちらを望みますか？

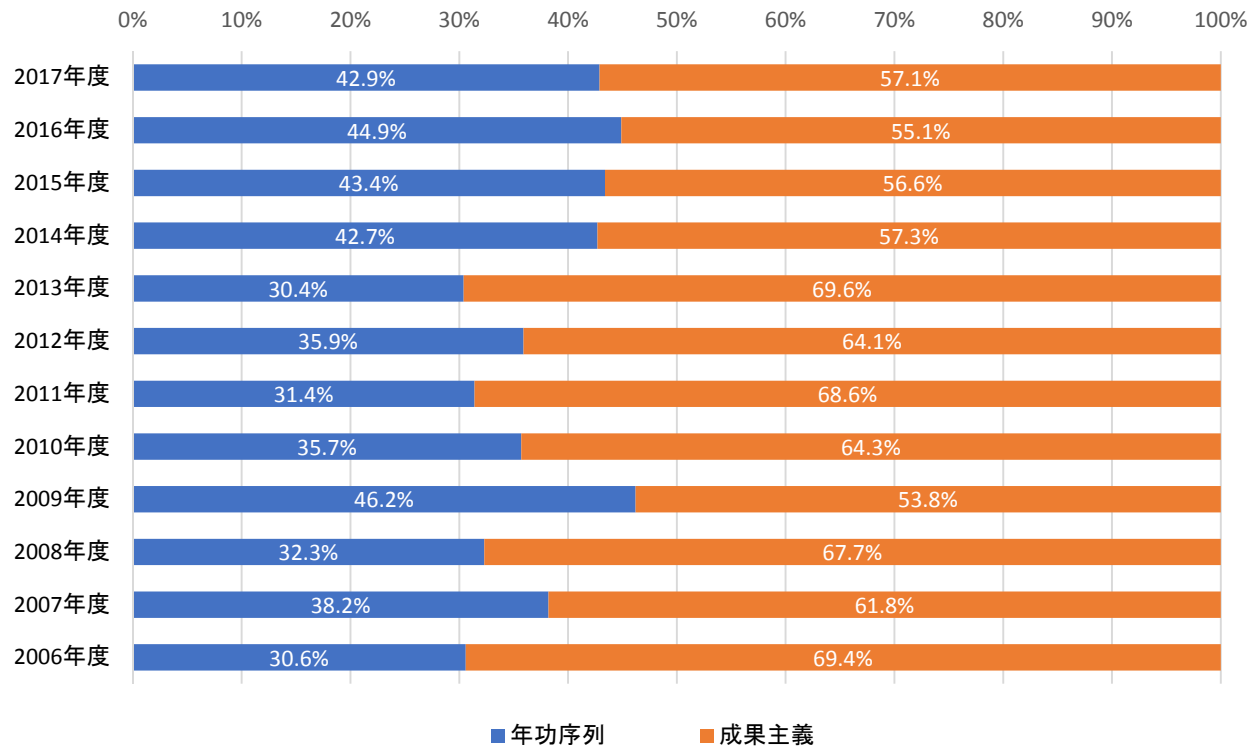
(n=516)



經年比較：男性(2006-2017)

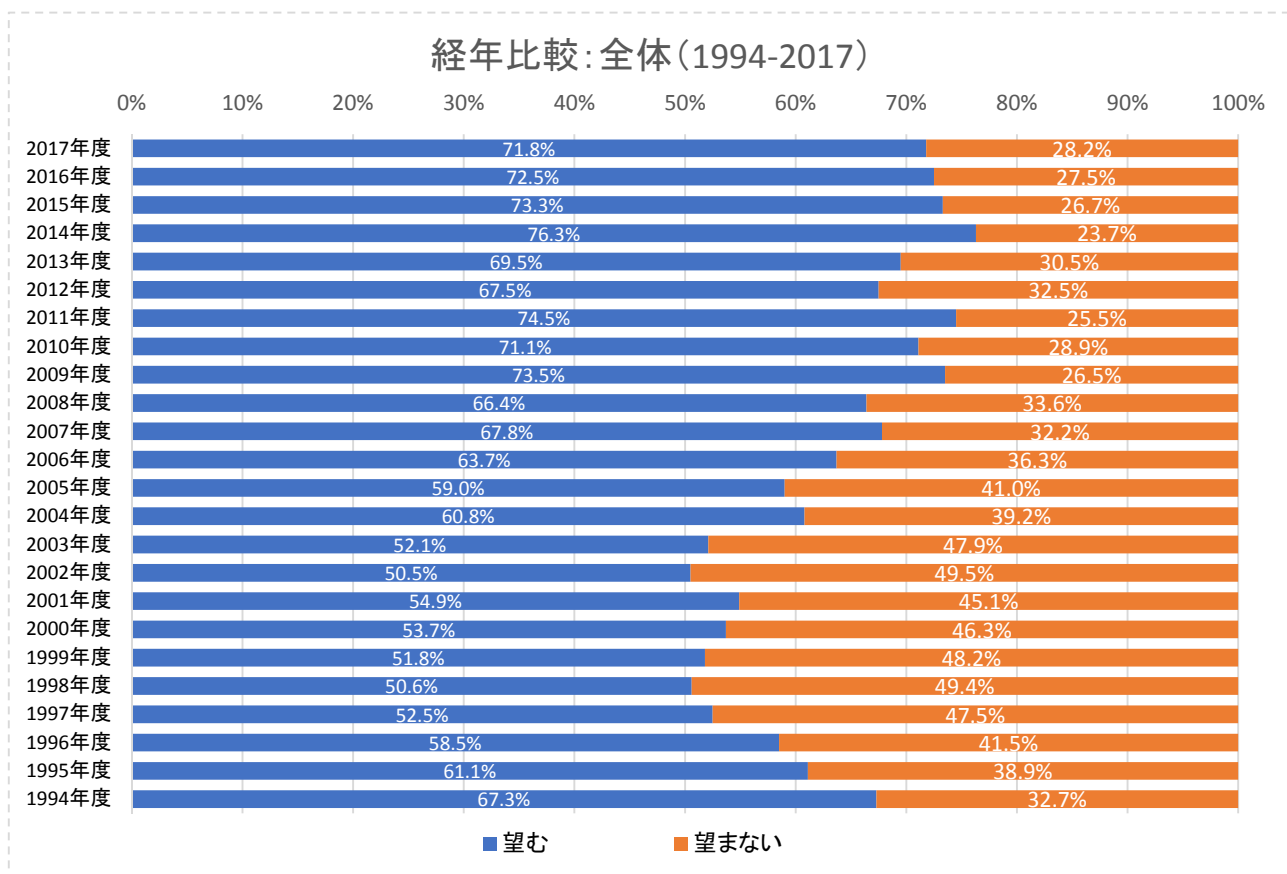
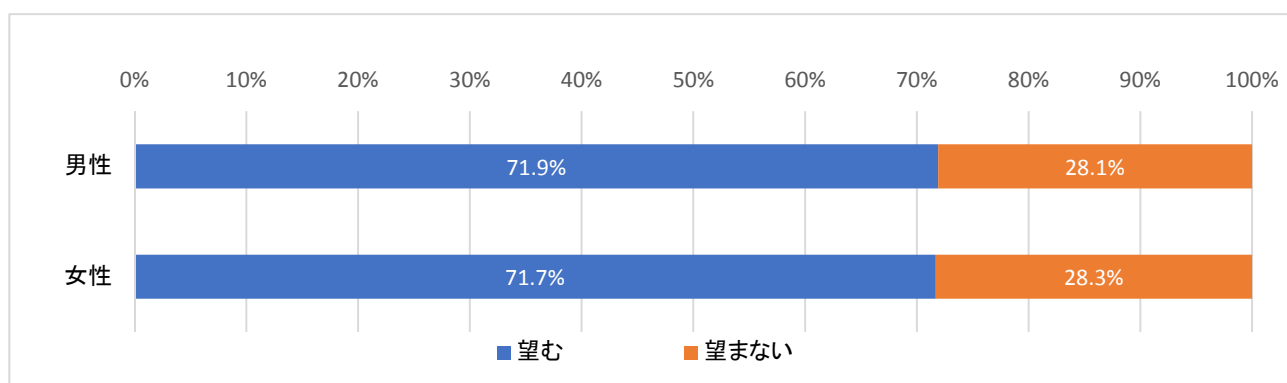
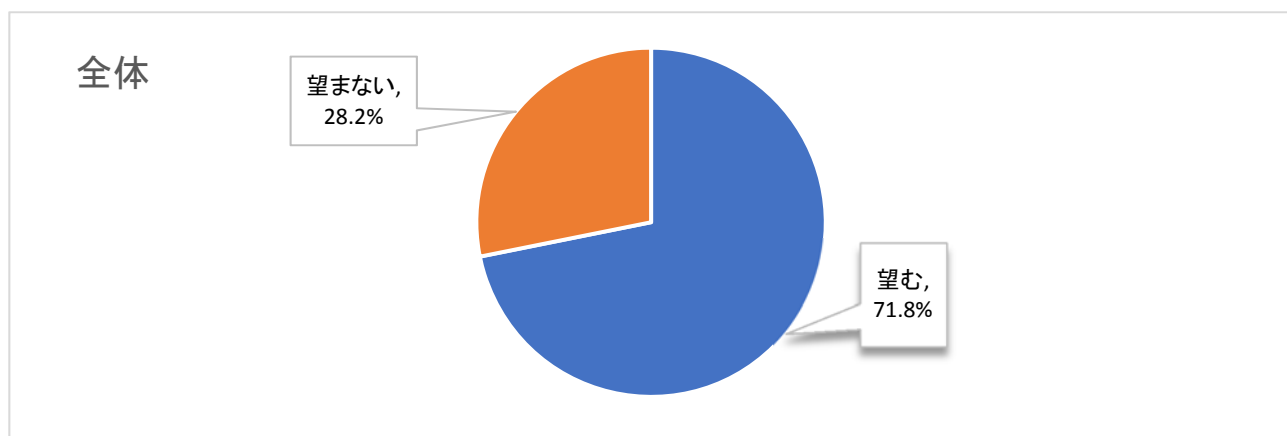


經年比較：女性(2006-2017)



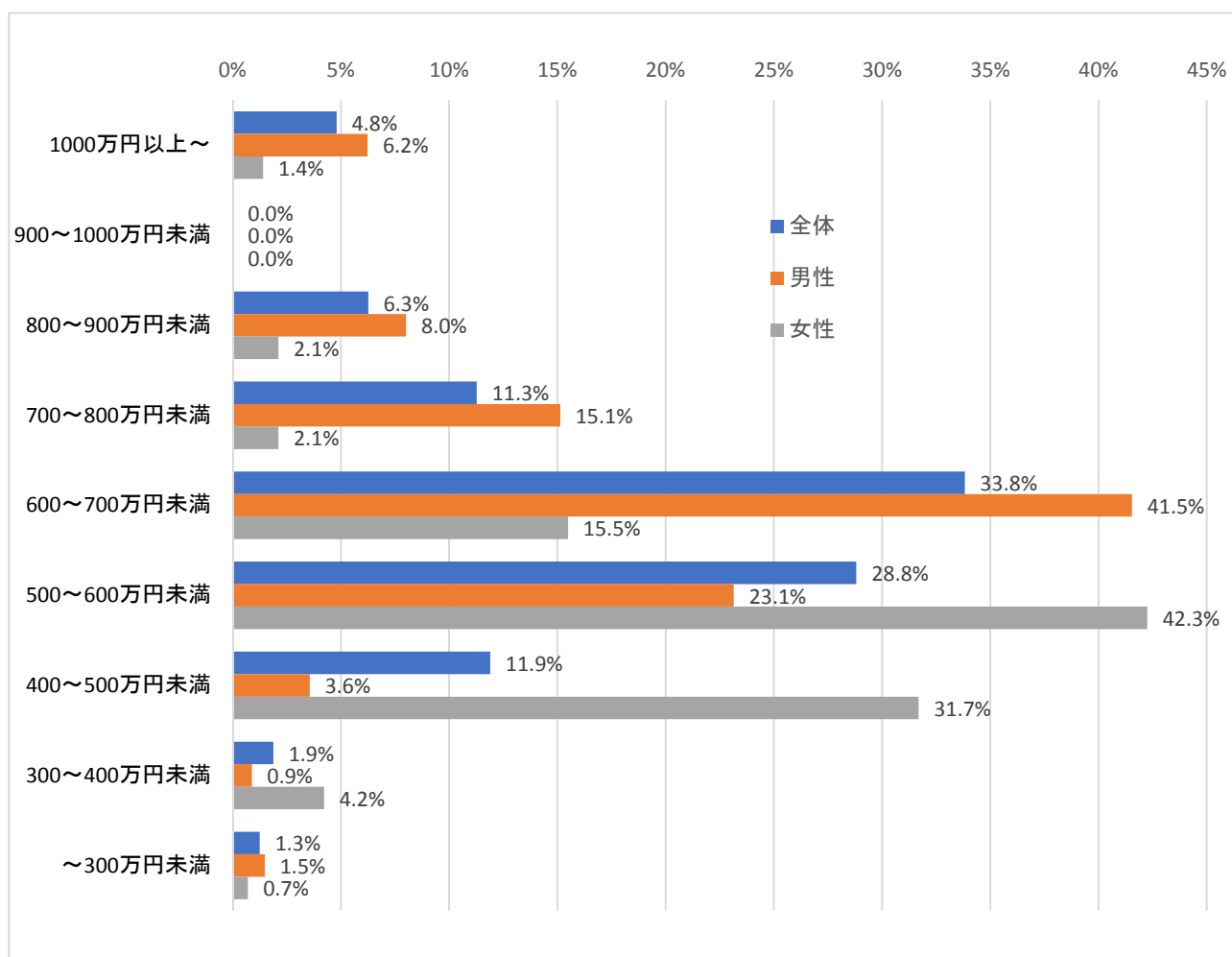
問14. “終身雇用制度”を望みますか？

(n=515)



問15. 35歳の時点でのあなたの理想の年収額はどのくらいですか？

(n=479)



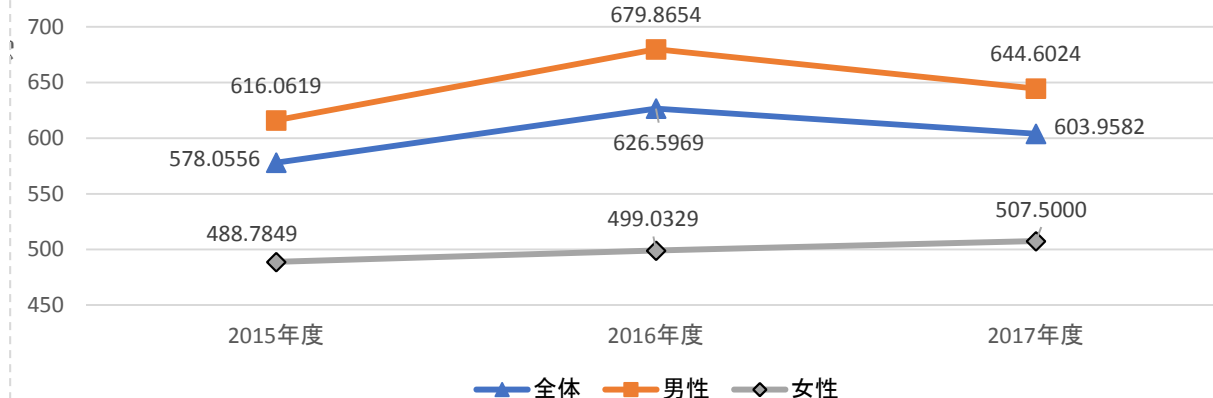
加重平均値

全体 = 6,039,582円 / 対前年比: -226,387円

男性 = 6,446,024円 / 対前年比: -352,630円

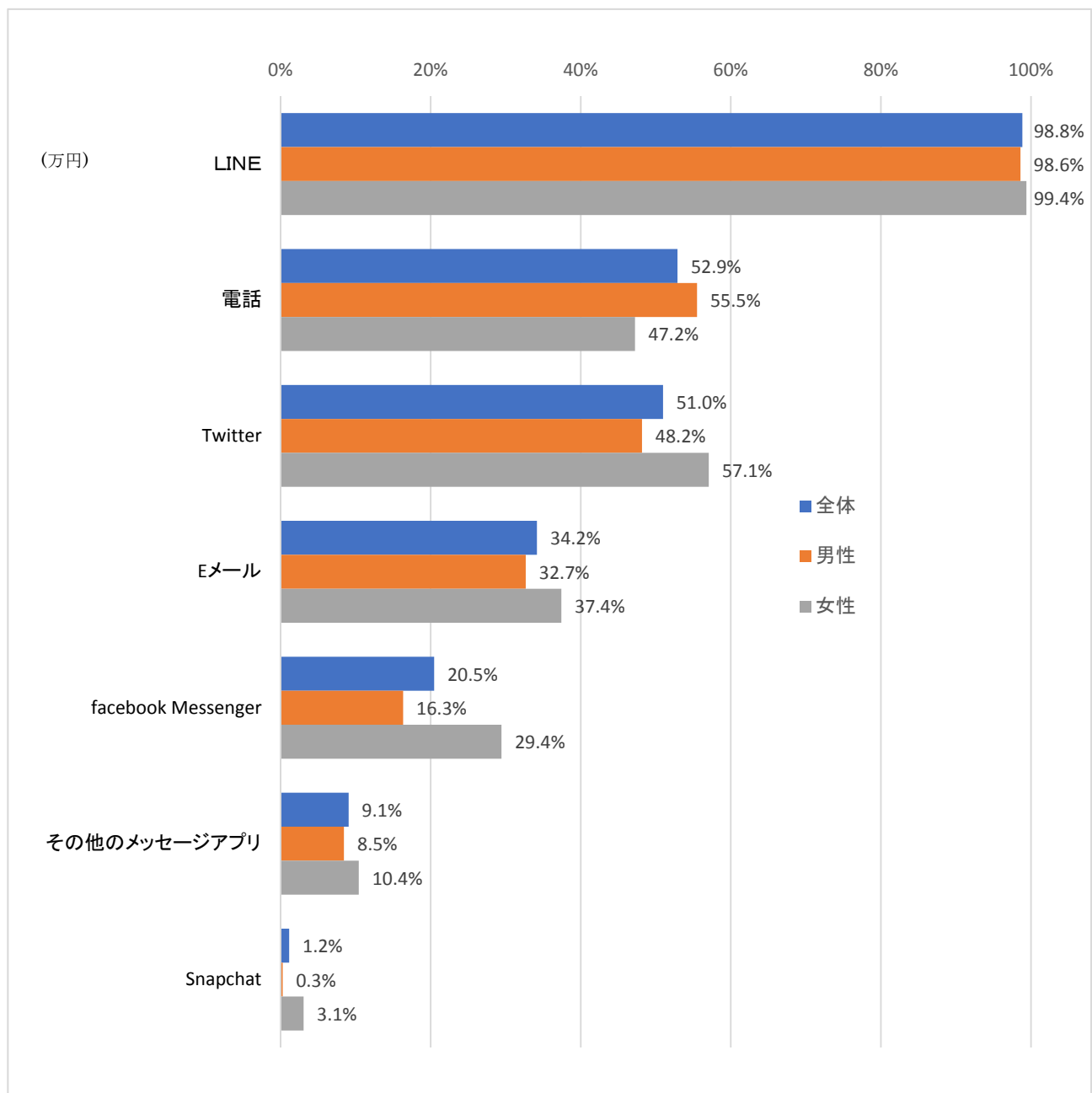
女性 = 5,075,000円 / 対前年比: +84,671円

経年比較:(2015-2017)



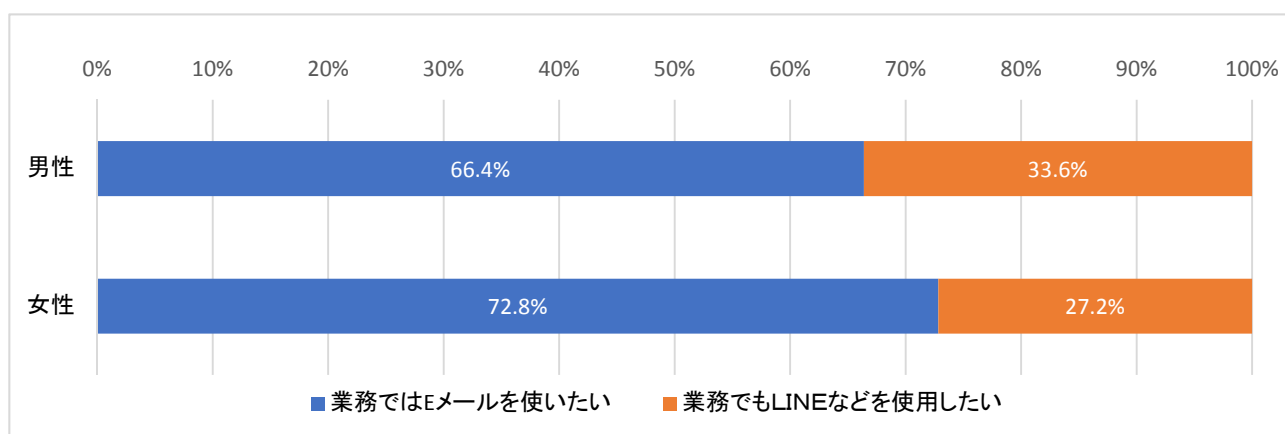
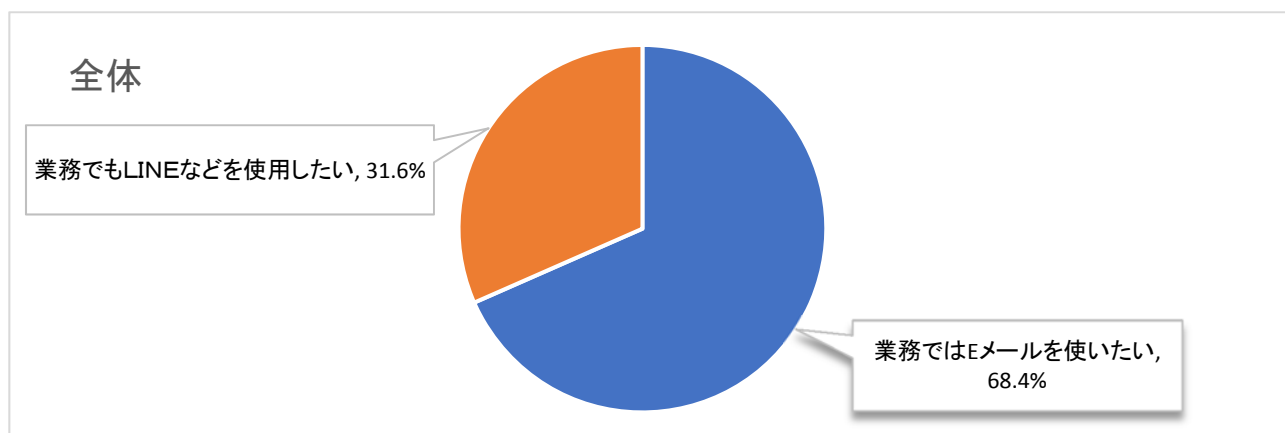
問16. 知人・友人と連絡する際に使用しているツールをお答えください。(複数選択)

(n=518)



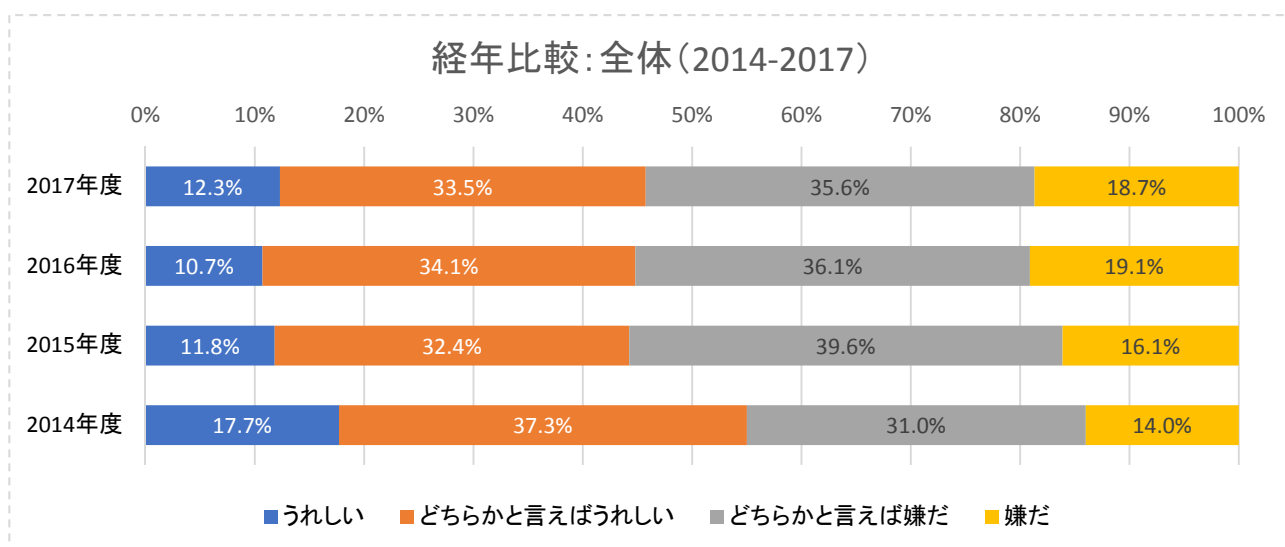
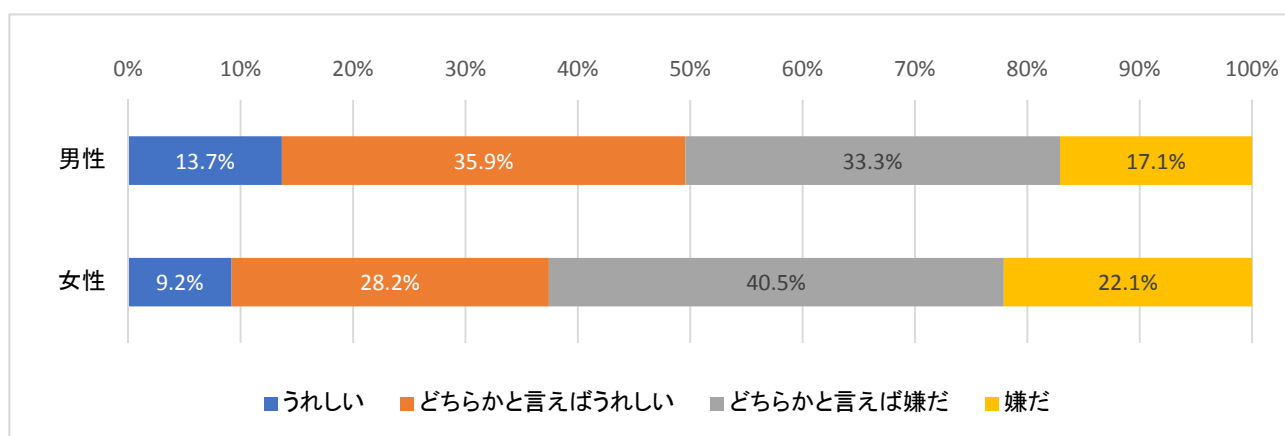
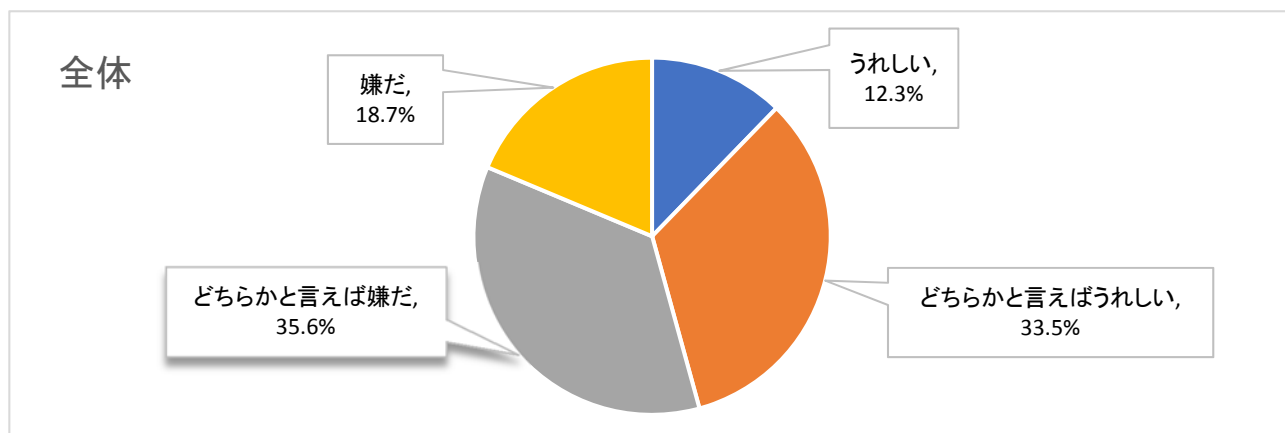
問17. LINEなどのメッセージアプリを業務でも使用したいと思いませんか？

(n=516)



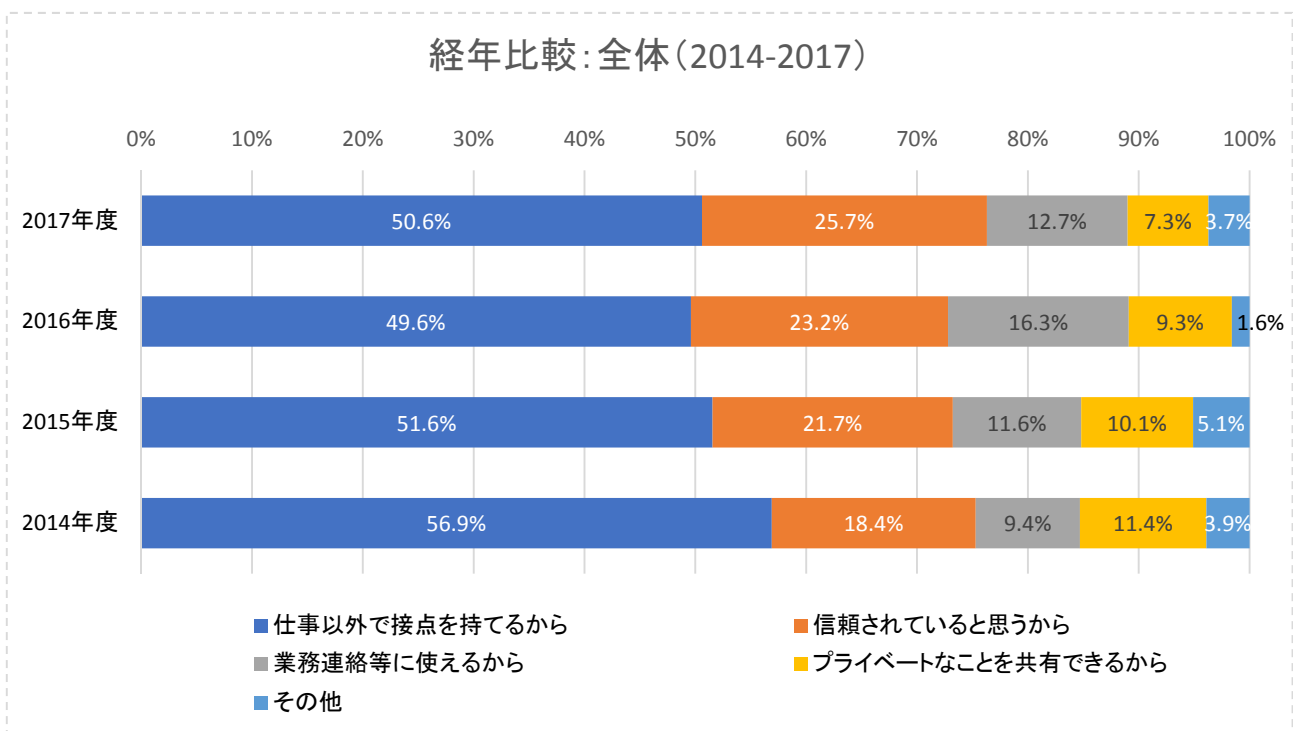
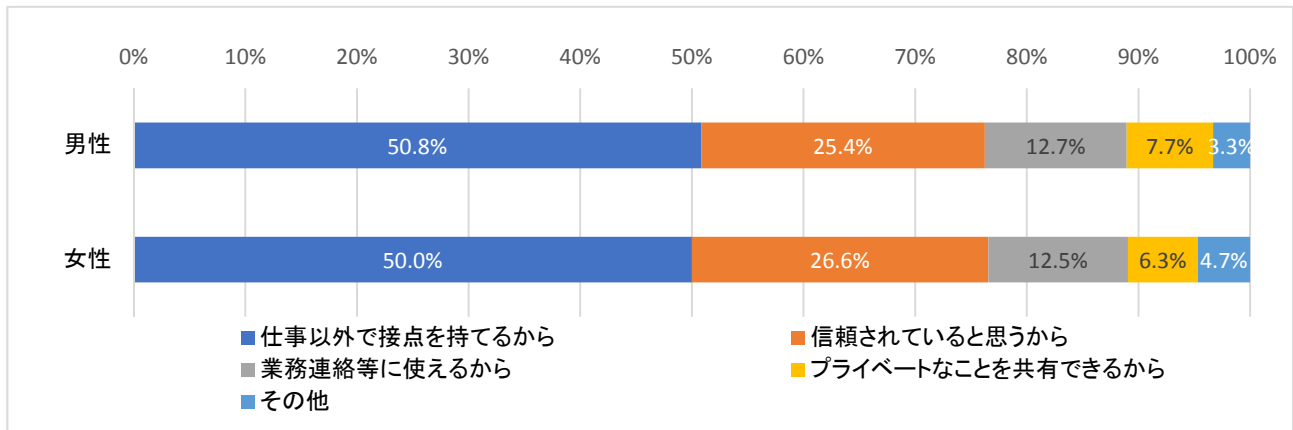
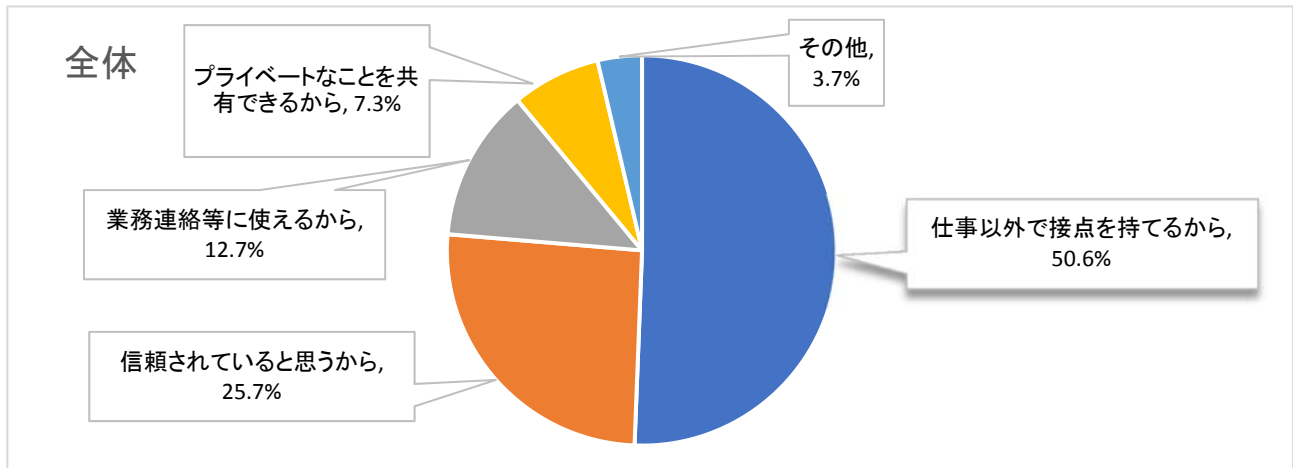
問18. あなたは会社の上司からSNSで友達申請があったらどう思いますか？

(n=514)



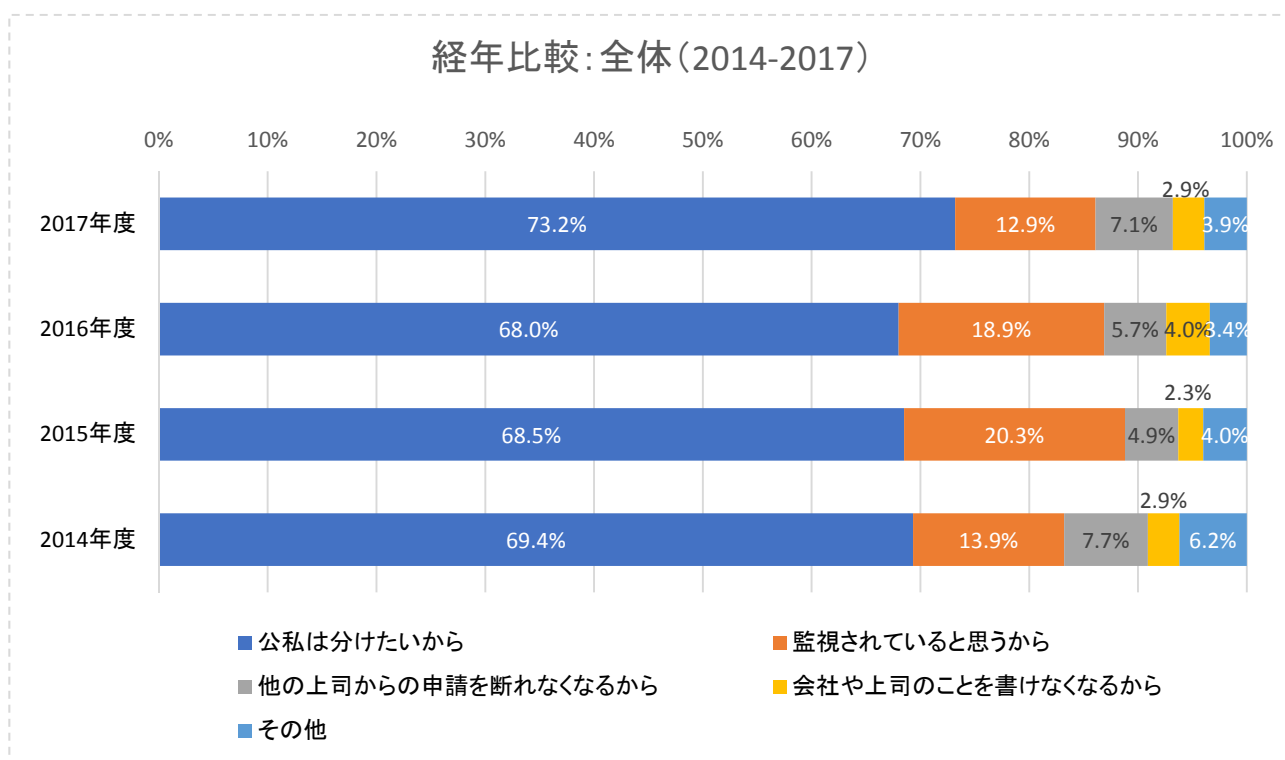
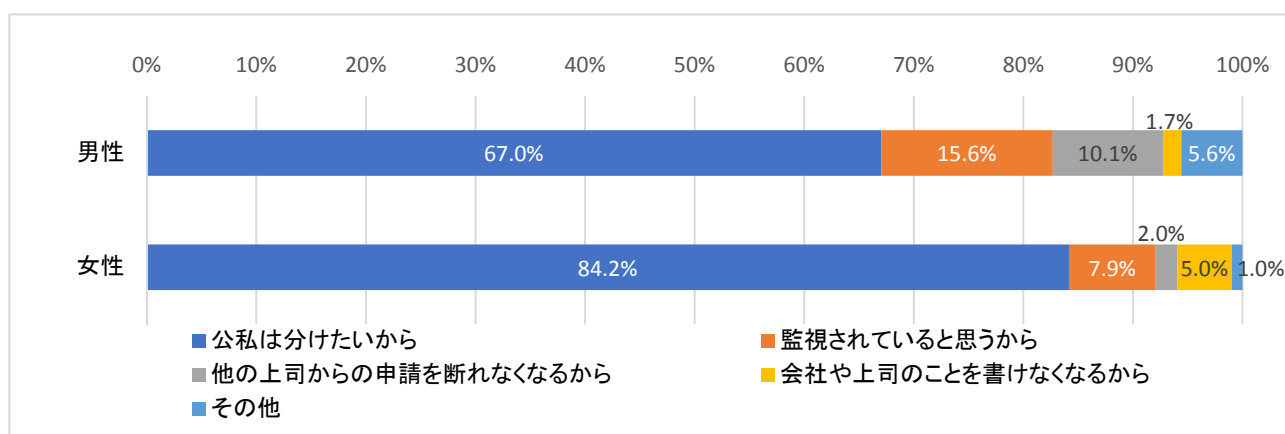
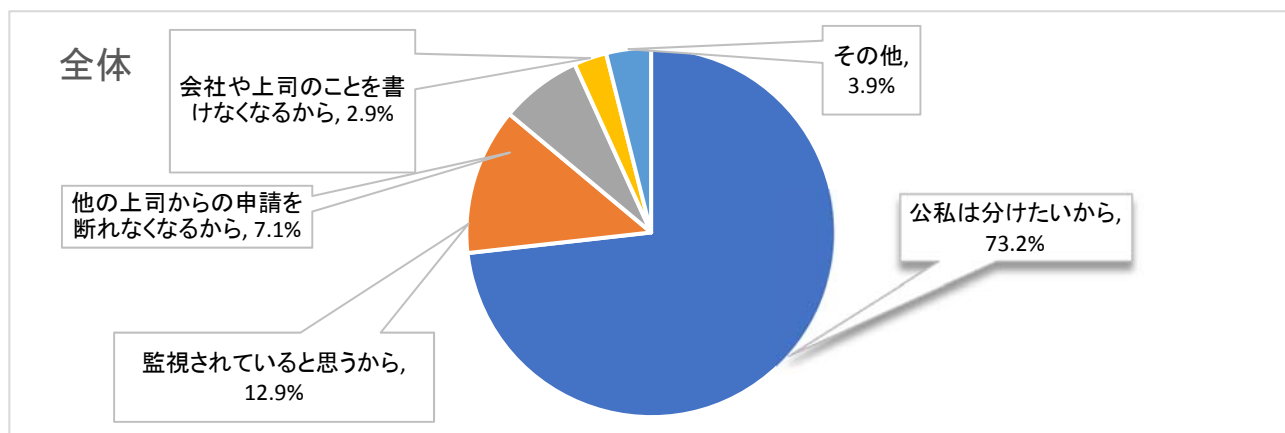
問19. 【問18で1もしくは2と回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？

(n=245)

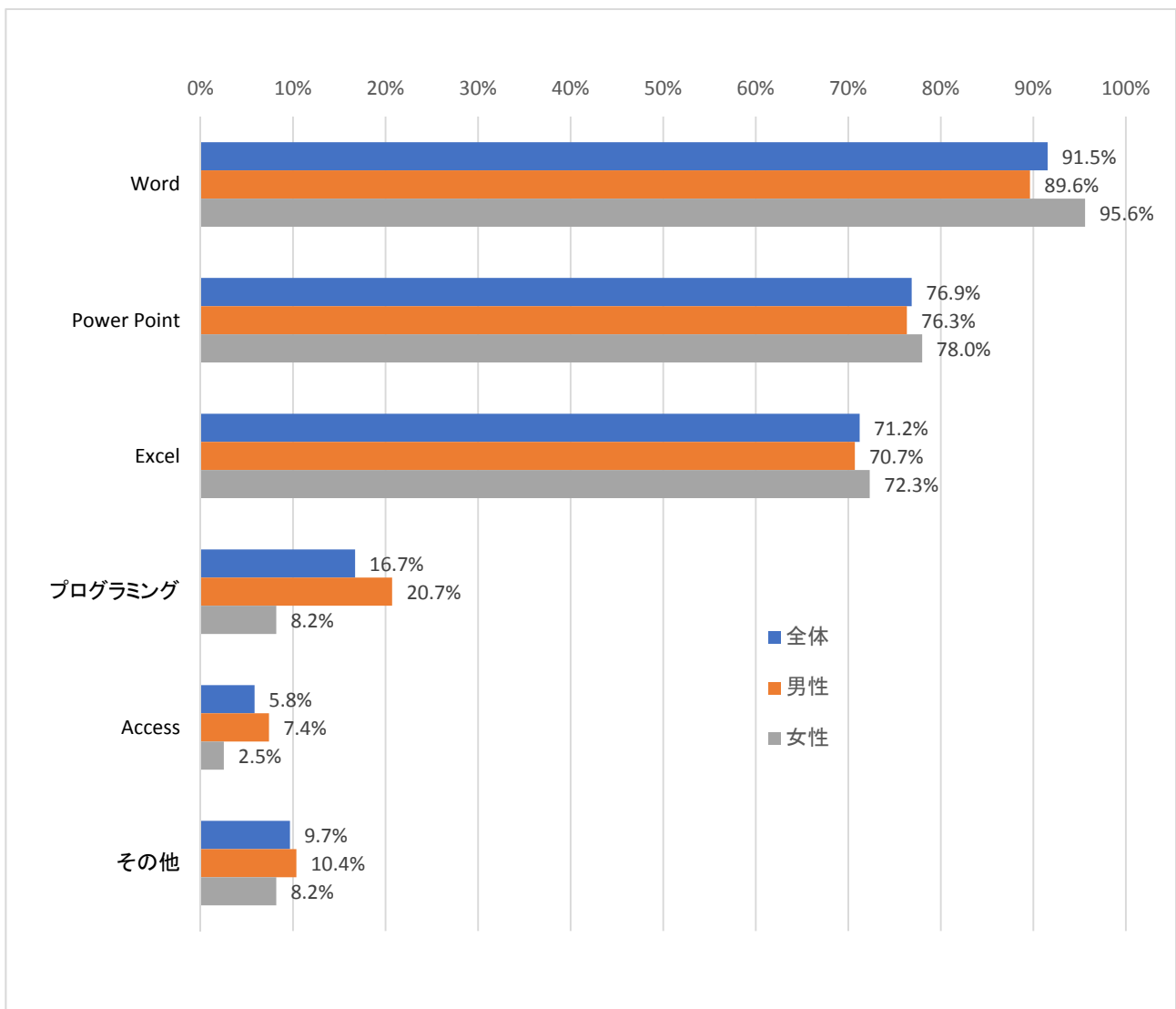


問20. 【問18で3もしくは4と回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？

(n=280)



問2 1. 仕事で使えると思うあなたのデジタルスキルについてお選びください。(複数回答)
(n=497)



2017年度
新入社員の会社生活調査

2017年6月

学校法人産業能率大学
〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15
TEL : 03-3704-9040
(企画広報部企画広報課)
